データベース構築促進及び技術開発に関する報告書

戦前期雑誌記事索引 100 万件の第1期データベース構築

平成12年3月

財団法人データベース振興センター

委託先 株式会社皓星社



この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものである。

データベース構築促進及び技術開発に関する報告書

戦前期雑誌記事索引 100 万件の第1期データベース構築

平成12年3月

財団法人データベース振興センター

委託先 株式会社皓星社

データベースは、わが国の情報化の進展上、重要な役割を果たすものと期待されている。今後、データベースの普及により、わが国において健全な高度情報化社会の形成が期待される。さらに海外に対して提供可能なデータベースの整備は、国際的な情報化への貢献および自由な情報流通の確保の観点からも必要である。しかしながら、現在わが国で流通しているデータベースの中でわが国独自のものは1/3にすぎないのが現状であり、わが国データベースサービスひいてはバランスある情報産業の健全な発展を図るためには、わが国独自のデータベースの構築およびデータベース関連技術の研究開発を強力に促進し、データベースの拡充を図る必要がある。

このような要請に応えるため、(財)データベース振興センターでは日本自転車振興会から機械工業振興資金の交付を受けて、データベースの構築および技術開発について民間企業、団体等に対して委託事業を実施している。委託事業の内容は、社会的、経済的、国際的に重要で、また地域および産業の発展の促進に寄与すると考えられているデータベースの構築とデータベース作成の効率化、流通の促進、利用の円滑化・容易化などに関係したソフトウェア技術・ハードウェア技術である。

本事業の推進に当って、当財団に学識経験者の方々で構成されるデータベース構築・技術開発促進委員会(委員長 東海大学教授 上條史彦氏)を設置している。

この「戦前期雑誌記事索引100万件の第1期データベース構築」は、平成11年度のデータベースの構築促進および技術開発促進事業として実施した課題の一つで、当財団が株式会社皓星社に対して委託実施したものである。

なお、平成11年度データベースの構築促進および技術開発促進事業で実施した 課題は次表のとおりである。

平成12年3月

財団法人 データベース振興センター

平成11年度 データベース構築・技術開発促進事業委託課題一覧

区分	NO.	課題名	企業名
一般	1	認定サービスにおけるデータベースの有 効利用に関する調査研究	(株) シネジャーナ ルプロダクション
	2	ゲームソフトにおける知的財産権管理流 通ビジネスに関する調査研究	京都リサーチパー ク(株)
	3	地形データを効率よくデータベース化す る技術開発	(株)セタ
	4	戦前期雑誌記事索引 100 万件の第一期 データベース構築	(株)皓星社
	5	POSデータに対するデータマイニング 手法群の比較研究と実用化技術の開発	(株) 日経リサーチ
	6	北九州産業技術発展の歴史記録の収集と データベース化	(株)日鉄技術情報 センター
地域振興	7	写真データベース構築	(株)琉球新報社
	8	バリアフリー施設データベースのプロト タイプ作成	(株) 札幌ネクシス
-	9	新居浜市機械産業における加工技術ノウ ハウ継承データベース構築	(株)四国インター ネット
	1 0	インターネットによるラジオニュース公 開型データベース 構築	(株)山梨放送

.

目 次

1.	戦前期雑誌記事索引データベース構築の目的と動機 ・・・・・・・・・・・・ 5
1.	1 戦前期雑誌記事索引データベース構築の目的 ・・・・・・・・・・・・ 5
1.	2 「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」企画の動機となった
	「水野広徳著作集」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
2.	明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成(冊子体)の意義と制約・・・・・・ 10
2.	1 戦前における雑誌記事索引10
2.	1. 1 雑誌記事索引の意義10
2.	1. 2 日本での最初の雑誌記事索引
2.	1.3 戦前におけるカレントな雑誌記事索引の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.	1. 4 戦前における累積版の索引書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
2.	2 「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」の意義と有効性 ・・・・・・ 15
2.	2. 1 「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」の意義・・・・・・・・・ 15
2.	2. 2 「戦前期雑誌記事索引」の有効性
2.	- 174144774714 - 7 17 17 4
2.	3. 1 「冊子体」であることの制約 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
2.	3. 2 「索引」「集成」であることの制約 36
3.	「執筆者索引」の制作とデータベース化への第一歩としての
	WEB サイトへのアップロードの意義と制約 ······ 38
3.	1 「執筆者索引」の制作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3.	1. 1 執筆者索引の入力項目と入力仕様 38
3.	1. 2 執筆者索引の編集と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
3.	
	そして制約 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
	2. 1 WEBサイトへのアップロード · · · · · · · · · · · · 44
3.	2. 2 インターネットを通じた「執筆者索引」の検索とその効果 ・・・・・・ 44
3.	2. 3 執筆者索引検索の制約・・・・・・・・・・・・・・・ 50
	·
4.	
4.	
4.	
1	
	3 戦前期雑誌記事索引データベース開発の課題と歩み・・・・・・・・・・3.1 戦前期雑誌記事索引データベース開発の課題・・・・・・・・・・・

4. 3. 2 戦前期雑誌記事索引データベース開発の歩み 53
4.3.3 調査・研究・作業の中で確認できた本プロジェクトの意義・・・・・・54
4. 4 対象資料の絞り込み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
4. 5 様々な索引の集成であるための入力方法の工夫 58
4. 5. 1 凡例の分析と入力項目の決定 58
4. 5. 2 対象資料へのマーカー付け ・・・・・・・・・・ 58
4. 6 戦前資料であるための旧字などへの対処と入力方法の決定 ・・・・・・・ 59
4. 7 集成であるための重複の解消手段の工夫と実行 ・・・・・・・・・・・・・・・ 60
4. 8 雑誌記事であるために、特に [人名] [地名] [団体名] [事件名]
に「省略」「異称」が頻出することへの検索時の工夫 ・・・・・・・・・・・ 61
5. 「戦前雑誌記事索引」データベースシステム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
5. 1 開発 … 62
5. 2 データベースの検索等機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
5. 2. 1 検索画面
5. 2. 2 タイトル・サプタイトルによる検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
5. 2. 3 ユーザー辞書登録 67
5. 2. 4 ユーザー辞書の対応語句=子の選択機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
5. 2. 5 執筆者名による検索 ············ 76
5. 2. 6 執筆者名による全文一致検索 ・・・・・・・・・・・・ 78
5. 2. 7 出典名による検索と出版年による絞り込み 81
6 今後の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
7 参考資料
$\frac{\partial f}{\partial x} = \frac{\partial f}{\partial x} + $
the control of the co
$A_{ij} = A_{ij} + A$

戦前期雑誌記事索引 100 万件の第1期データベース構築

株式会社 皓星社

1. 戦前期雑誌記事索引データベース構築の目的と動機

1.1 戦前期雑誌記事索引データベース構築の目的

過去の雑誌記事・論文などを検索するツールとして「雑誌記事索引」がある。 人文・社会科学の分野では、過去の時代そのものが研究対象となるため、特に、 遡及的な雑誌記事索引は研究に不可欠なものである。

このツールを持たずに資料に向かうことは、あたかも地図とコンパスを持たず に原生林に分け入るようなもので、到底目的地に達することはできない。

仮に、試行錯誤の末にたどり着けたとしても、その時間的労力的ロスは計り知れない。

一部の研究者・図書館司書には、職人的な知識とカンで卓抜な成果を上げるものもいるが、その知識はほとんど「口伝」として伝えられ、誰もが活用できる方法論として整理されてはいない。

わが国の代表的な雑誌記事索引に、昭和23年9月から、GHQの勧告を受けて国立国会図書館が作成を開始し現在まで続いている「雑誌記事索引」および大宅壮一が自らの仕事のために作成した索引を継承発展させた「大宅文庫の雑誌記事索引」がある。

しかし、国会図書館の「雑誌記事索引」は、当然ながら昭和23年9月以前は検索することができないし、「大宅文庫の雑誌記事索引」は、その成立の事情からしてもサブカルチャー誌などには目配りがきいている反面、学術調査のために活用するには限界がある。

したがって、上記2種の雑誌記事索引では、戦前期の学術雑誌、専門誌、総合雑誌などに掲載された論文や記事を検索することはできない。

皓星社は、これを補うものとして、明治初年から昭和23年までをカバーする記事索引として活用できる目録類を集成し「戦前期雑誌記事索引」=「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」全120巻を刊行した。

これは、雑誌記事100万件超、執筆者30万人超という規模であり、この完成により国立国会図書館の戦後のものとあわせて明治期から今日までの雑誌記事を一貫して検索できることとなり、研究者は文献調査の時間と労力を大幅に短縮できることとなった。

この成果を踏まえ、さらにデータベース化が各方面から要望されてきたが、国立国会図書館は2002年(平成14年)には、昭和23年以降の雑誌記事索引300万件をWEB上で公開するとしている。

次の課題は、戦前期雑誌記事索引100万件超をデータベース化することであるが、これが完成するならば、わが国の雑誌記事は、明治の「雑誌」発祥から戦前・戦中・戦後一貫してコンピュータによる検索が可能となる。

自国の雑誌に対するこうした検索体制を完備している国は少なく、国内はもとより国際的にも学術研究に寄与するところ大と考える。

本データベース構築は、戦前期雑誌記事索引100万件超のデータベース構築の端緒を開くものでありその一部をなすものである。

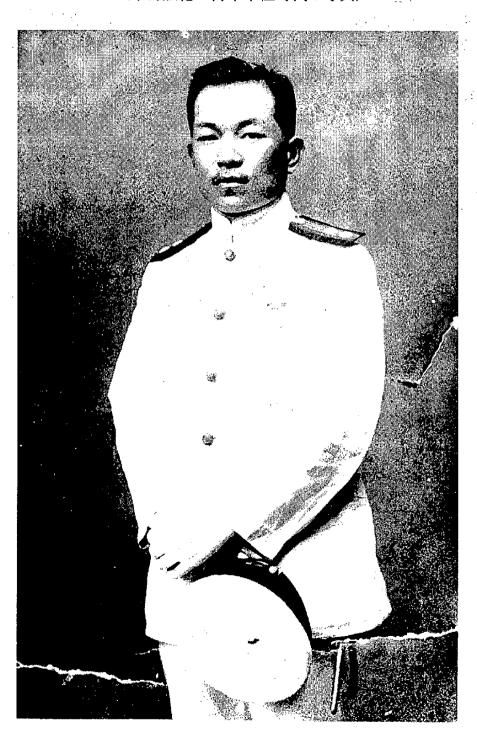
今回のプロジェクトの位置づけ(概念図)

今回のプロジェクト 皓星社の索引集成	NDLにより 2002年Web上で 公開予定
明	昭 現
治	和在
初	23
年	年

1. 2 「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」企画の動機となった「水野広徳著作集」

皓星社では、1993年(平成5年)から株式会社南海放送の委託を受け「水野広徳 著作集」を編纂することとなった。

(水野広徳・海軍中佐時代の写真)



水野の人物と業績については「朝日人物事典」に次のように記述されている。

水野広徳(1875.5.24~1945.10.18)海軍軍人で平和主義者

愛媛県生まれ。1898(明治31)海軍兵学校卒。海軍大尉の時第11号水雷艇の艇長として日露戦争の各海戦に参加。戦後、軍令部で日露海戦史の編集にたずさわり、別に個人で日本海海戦の戦記「比一戦」を刊行してベストセラーとなる。第1次大戦と大戦直後の2度にわたりヨーロッパに私費留学し、反戦平和の思想を抱くようになり、1921(大正10)年に大佐で予備役に編入。22年軍備縮小同志会を作り「中央公論」その他の誌上で軍縮を主張した。その後も平和運動を続けて33(昭和8)年には極東平和友の会の発起人となった。日米非戦論を唱えていたため、戦時中は活動を封じられた。伝記に松下芳男著「水野広徳」がある。

南海放送は、水野の出生地である愛媛県の民放テレビ局であり、創立40周年を 控えその記念事業として水野の著作集を企画したものである。

皓星社は、立教大学教授粟屋健太郎氏、静岡県立大学教授前阪俊之氏、南海放送副社長(当時・故人)大内信也氏を編集委員に委嘱し編集作業を開始した。

編集にあたり、準備作業として、水野の「著作目録」の作成に着手したが、直 ちに大きな障害に直面し困惑することとなった。

それは、水野が一部の研究者には高く評価されながら、一般的にはほとんど無名であるため先行研究がほとんどなく、特異な軍事評論家として重きをなしていたにもかかわらず論文掲載誌の多くが不明なことであった。

桃山学院大学教授(当時)太田雅夫氏は、昭和59年の論文で「先ず完全なる『水野広徳著作目録』と詳細な『水野広徳年譜』を作成することが先決問題となることであろう」として「研究を進める一助になればと思い、水野が剣と別れてからの評論活動の主な舞台であった『中央公論』に掲載された論文の一覧表を付して拙稿を終わりたいと思う」と結んで「中央公論」掲載論文70種を挙げている。

「中央公論」「改造」といった現在でも著名な雑誌を別として、水野がどのような雑誌に執筆していたかは、まさに雑誌記事索引がなければ、雑誌をかたっぱしからめくって偶然の出会いを待つより方法がない。

水野広徳著作集の実際の編集作業を通してわが国の戦前期における雑誌記事索引の不備を痛感することとなった。

したがって、「水野広徳著作集」編纂の仕事は、先ず戦前期における雑誌記事索引の調査という、一見迂遠な方法で開始された。

しかし、調査してみると、戦前期においても現在に勝るとも劣らぬ索引に対する深い認識と実際にすぐれた索引が各種作成されていたことが判明した。

それをわれわれが活用していないのは、単にそれ自体が後述するように雑誌に 掲載されていたためその雑誌とともに埋もれていたためである。

また、存在を知っていても掲載誌をもれなく集め通覧するという作業に耐えられないと考えられてきたためである。

そして、どのような索引がどれくらいの期間でていたのかなどの全体像も把握 されていなかったためである。

水野の執筆目録作りを索引の調査から始めたことは、優れた索引との出会いを通して、結果的には最も効率の良い近道であった。

索引の持つ威力をあらためて認識し、それが冊子体「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」の企画となり、本データーベース構築に連なることになったのである。

そこで順序として、前史としての「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」 刊行に至る経緯を次に略述する。

- 2. 「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」(冊子体)の意義と制約
- 2. 1 戦前における雑誌記事索引

2.1.1 雑誌記事索引の意義

索引の意義や定義について、弥吉光長氏は次のように定義している。

「索引(Index)とはラテン語のIndicateから出ていて『さし示す』を意味しているが、これこそ索引の一般的目的である。目次(Contents)目録(Catalog)書目(Bibliography)索引(Index)と似たようなものがあるが、その差異は適宜なものでつけにくい。目次は本文の記述順あるいは分類順に本文の目にあるもので、索引の原始形態である。書目は多数の図書の題目を列記したもので索引の一形式と考えられる。目録は内容の羅列である。索引は図書・新聞・パンフレット類の資料の内容の中から、著者・人名・書名・引用名・語・句・主題・法規の条文・化学式・外国語・図版・歴史的年代等々の項目を各々索出して検索の便利なように編成排列したものと定義することができる。」

雑誌記事索引については、その意義を次のように言う。

「雑誌論文・本の中の一節・詩、歌、随筆等は目録だけでは利用するのに不十分で、索引されて初めて真の利用が出来るわけである。」

「各種雑誌に分載されている論文を抜き出して編成したものが雑誌(記事)索引で、非常に面倒なものであるが、雑誌目録だけでは雑誌の論文は地下にうずもれた資源のようになってしまうので、雑誌索引をどうしても作らなければならない。」

2.1.2 日本での最初の雑誌記事索引

わが国で「雑誌」と冠された名前の始まりは、慶応3年創刊の「西洋雑誌」であるといわれる。

明治初期における旺盛な西洋文化吸収の気運は、誕生間もない図書館界においても例外ではなく、出現ほどなく膨大な数に上った雑誌記事の索引を作成することとなった。

元国会図書館の稲村徹元氏の研究で知られるようになったが、日本で初めての「雑誌記事索引」は東京に於いてではなく金沢の石川県勧業博物館(図書館も兼ねる)に於いて明治24年から28年にかけ、明治初年から明治27年をカバーする索引集が3冊作られた。

その編纂意図は第1巻の巻頭に次のように示されている。

「官報公報府県勧業年月報其他雑誌中二就キ農商工業上二益アルモノヲ分類摘 目シ以テ捜索ニ便ス」

この索引作成を実際に担ったのは、武蔵規一郎(1839~1904)という旧金沢藩士で、稲村の論文の他「金沢武蔵家おぼえ書」(中村春江著1979年私家版)に記されている。

その年表によれば、

1890年9月6日県立勧業博物館臨時傭となる月給7円

11月19日発行北陸新報に博物館の四傑として武蔵編集を以て鳴るとある

11月20日同右農商務省へ勧業諸報標目を編集して送り嘆称せらるるとある

という経緯であった。

続いて明治25年8月8日号から「早稲田文学」に「近刊諸雑誌」「彙報」などの名で「読者が検索の便に資せんため今後各号比項を設けて毎半ヵ月新聞紙上の文学的現象を目次的に列挙すべし」として、新聞・雑誌の索引を掲載した。

社会科学分野では、カレントの索引として明治42年以降「国民経済雑誌」に「最近ノ経済学界」の連載が開始され、累積的なものとして「法律経済論題輯覧」正続(明治41、43年)が刊行された。

また、学問の性質上、医学、化学などの自然科学分野でははやくから索引専門 誌が刊行されてきた。

2.1.3 戦前におけるカレントな雑誌記事索引の概要

戦前におけるカレントな雑誌記事索引は、おおよそ次のような文献により概要を知ることが出来る。

- ・ 「雑誌論文索引その他」青木実『書物展望』2巻9号(昭和7年)
- ・「逐次発表の書誌」天野敬太郎『東京堂月報』昭和15年12月号
- ・『雑誌論文索引抄録所載刊行物調査』社団法人調査研究連盟昭和18年12月
- ・「法律関係雑誌記事索引の解説と紹介」『最高裁判所図書館図書月報』48号付録(昭和33年11月)

そして社会科学分野では、これらをもとにさらに博捜を加えてまとめた目録が 次である。

- ・『日本における社会科学系雑誌記事索引と抄録―明治期より昭和20年まで 資料編 [未定稿]』宮地見記夫編(草稿)1980年9月 凡例に「この書誌は、わが国(旧植民地を含む)の明治期より昭和20年まで の社会科学とその周辺領域の
 - (a)雑誌、紀要などの刊行物に継承して掲げられた雑誌記事索引・抄録
 - (b)記事索引および抄録の専門誌
 - (c)少数の図書形態にまとめられた記事索引と抄録

を収録」

と記している本目録が「未定稿」といいながら 125 種を集め最も詳細なものである。

「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」の制作にあたって特に重要な資料 となったので、末尾に「参考資料」として列挙する。 人文科学分野では、宮地氏のような仕事はなされなかったようであるが、最近 になって、

・「明治・大正・昭和前期における雑誌記事索引小史―国文学・歴史学を対象と した索引を中心に」堀込静香『鶴見大学紀要』第34号(1997年3月)

が発表され、一般にも概要があきらかになったが、本論文は皓星社版『明治・大正・昭和前期 雑誌記事索引集成』の編者の一人であった筆者が、編纂過程でえた知見をまとめたものである。

2. 1. 4 戦前における累積版の索引書

人文科学・社会科学分野では、自然科学と異なり過去の累積版へのニーズも高く、各種作成されている。

それらの主要なものは次のとおりである。

- ・『法律経済論題輯覧』(既出)
- ・『法律経済社会論文総覧(正続)』天野敬太郎編 昭和2、3年雑誌96種の 創刊号から1927年迄の主要論文を採録。総頁1790。
- ・『経済法律文献目録(1、2輯)』神戸商大商業研究所昭和2、6年雑誌331種、 新聞22種の1916~1930年を収録。『国民経済雑誌』に掲載の索引の累積版。し たがって以降は同誌に掲載。
- ・『経済学文献大鑑1~4』大阪商大財政編、貨幣金融編、商工編(上)
- ・『邦文雑誌記事索引』東京市政調査会1927年1925.1から1927.6迄の都市・行 政問題に関する記事索引。これ以降は同会発行の『都市問題』に連載。
- ・『満鉄調査課備付資料索引目録1-4輯』南満州鉄道庶務部調査課昭和3-9

これら、戦前期の索引作成にあたっては、実際の作成者を別にして、内務大臣・東京市長・満鉄総裁を歴任した後藤新平の理解が大きく寄与しているという従来あまりしられていない事実があり、また、多くの索引作成を担った高等教育機関においては、帝国大学は比較的関心が薄く、多くは高等商業・商大、高等師範・文理大において作られているという興味深い事実もあるが、本報告では指摘にとどめる。

2. 2 「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」の意義と有効性

2. 2. 1 「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」の意義

以上に見るように、戦前期といえども雑誌記事索引は、おびただしく作られていて、今日われわれがこれを活用し得ないのは、ひとえにこれらが埋もれてしまっていて存在自体を把握しえていないからに過ぎない。

カレントな索引は、当然ながら記事・論文の掲載から索引化までタイムラグの 短縮が要求されるため、索引専門雑誌や雑誌の巻末などに逐次掲載される。

したがって、今日の時点で遡及的な検索のツールとして利用する場合、掲載誌 自体を欠号なく揃えることが必要となる。

しかも、当時の価値観において取捨選択されているそれぞれの索引から今日の 視点で求める論文を検索し欠落を防ぐためには、なるべく多くの種類の雑誌を調 べ比較参照することが望ましいが、所在がまちまちな雑誌を比較参照することは より一層困難な作業である。

以上もまた、実際に索引類を発掘し目録作成のために使って作業した経験からの実感であり、このことの困難さが、従来、索引の有効性を承知しながら、利用されないで埋もれさせてきた真の原因であると考えられる。

こうした実際の目録作成にあたっての索引の必要性と、次項で述べるように「水野広徳著作集」のための調査の過程で実感した有効性をふまえて「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」(以降、「戦前期雑誌記事索引」と言う。)の制作を決定した。

制作にあたっては、

- ・石山洋(東海大教授・元索引家協会会長)
- 稲村徹元(埼玉純真女子短期大学教授)
- 大久保久雄(東海大学講師)
- ・宮地幹夫(元一橋大学経済研究所資料調査室・千葉商科大学)
 - 掘込静香(鶴見大学女子短期大学部助教授)

の各氏に編集委員をお引受けいただき、基本方針を練り上げた。

日本の雑誌記事索引の全貌をあきらかにするための基礎作業としてまず着手したのが、各種索引が採録対象としている時期と分野を一覧できる年表の形にしてみることであった。

(次ページ折り込み参照)

これによって、各種索引がお互いに補い合うことにより、戦前期全般にわたり 一定のカバレッジがなされることが判明した。

収録期間が1年程度の短期間で終わったもの、収録内容が非常に狭いものを除き、原則すべての「雑誌記事索引」を集成しようという方針を立てた。

「戦前期雑誌記事索引」は、1993年12月の方針確立から1994年11月の社会科学編第1回配本、そして1997年12月の人文科学編第10回配本まで、約4年の歳月をかけて刊行された。

社会科学編人文科学編合せて全120巻、記事・論文数100万件超、執筆者数100 万件超、84,000ページ超という膨大な「知のツール」として完成をみた。

2. 2. 2 「戦前期雑誌記事索引」の有効性

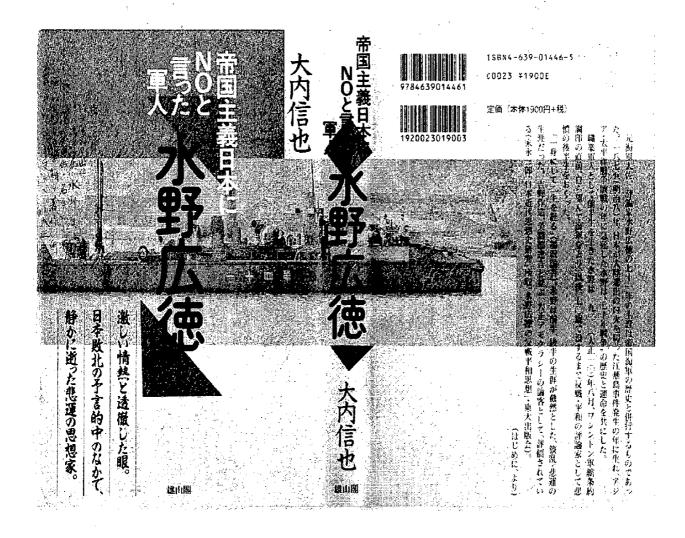
「戦前期雑誌記事索引」のための戦前における雑誌記事索引の収集と『水野広徳 著作集』の執筆目録作りは平行して行われた。

着手した時点で、われわれが把握しえた水野の著作は『中央公論』を中心に7~80点に過ぎなかったが、1995年7月の著作集刊行時点では250余点に達した。これは、戦前の雑誌記事索引類から、「水野広徳」を検索した結果であった。南海放送副社長大内信也氏(著作集編集委員)はこの編集過程で、明らかになった多くの新知見をまとめ、水野の伝記『帝国主義日本にNOと言った軍人水野広徳』をまとめ、本書は、著作集とともに高い評価をえた。

著作集刊行時、水野の論文数は、編集作業開始以前の70編から250点以上になったが、索引によって知り得たのは、このうちの約半数程度である。

他は、雑誌Aに水野が執筆していることを索引で知り、念のためにその雑誌の 総目次ないし現物にあたってそれ以外の論文を発見するという手順によった。

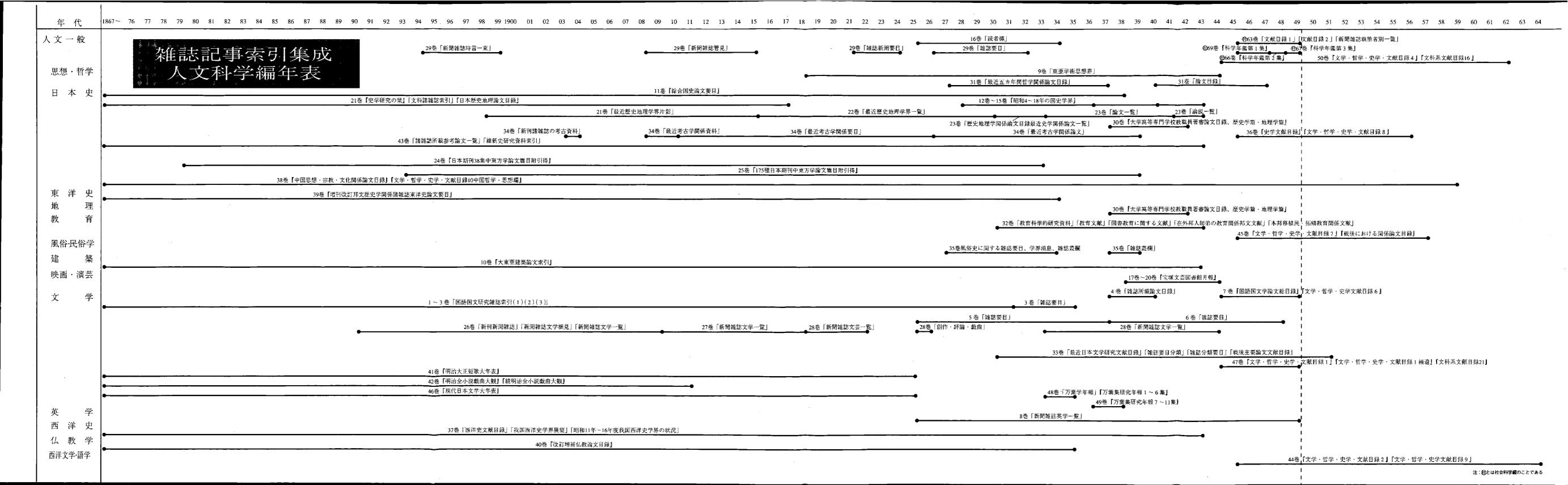
このことは、一見、索引の不備を示すようであるが、索引がなければその雑誌 Aにも行き着かなかったことを考えれば、決してそうではなく、むしろ索引の有 効性を示すものであると、実際の調査・編集作業において索引を使って成果を上 げた経験から断言できる。



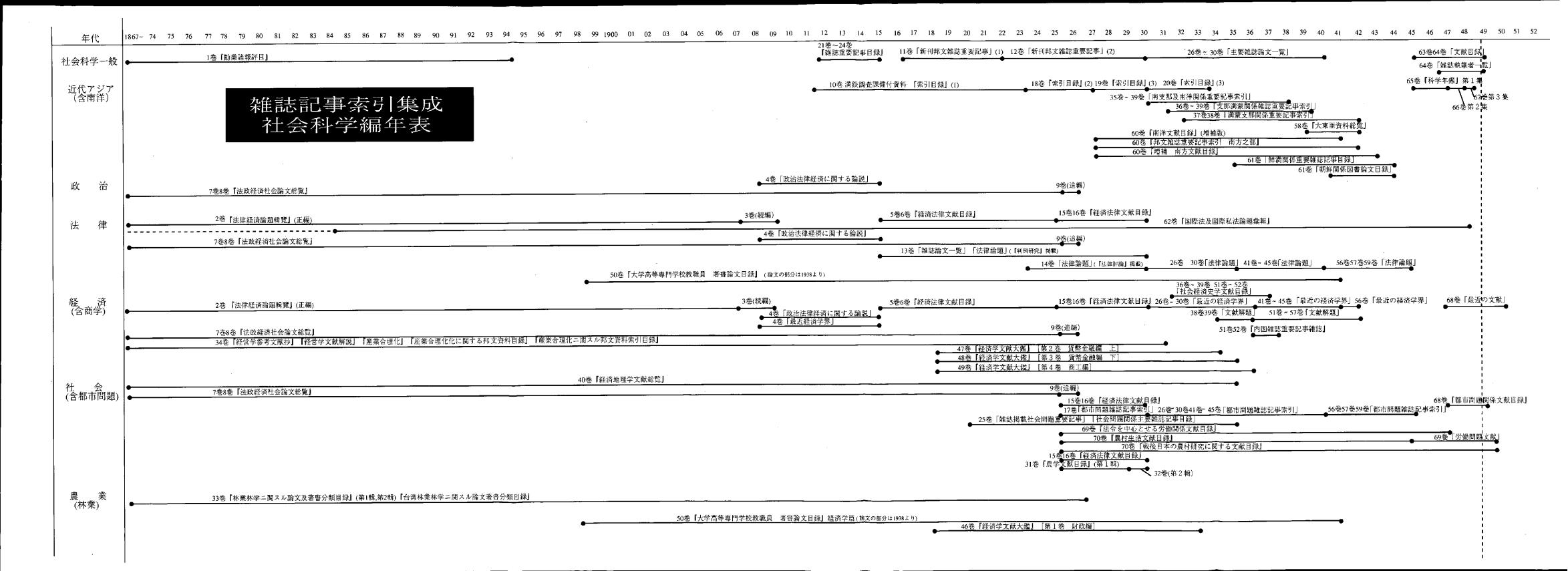
「戦前期雑誌記事索引」=「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」の出版によって、研究者は、研究の基礎・前段階である「重要だが長時間にわたる単純な目録作成」などの作業から解放され、より創造的な研究者本来の仕事に専念できる環境を得ることができたのである。

大学図書館、公立の中央図書館を中心に、「戦前期雑誌記事索引」は数多くのところで利用されて今日に至っている。

(参考に「索引集成」のパンフレットを次ページ以下に示す)

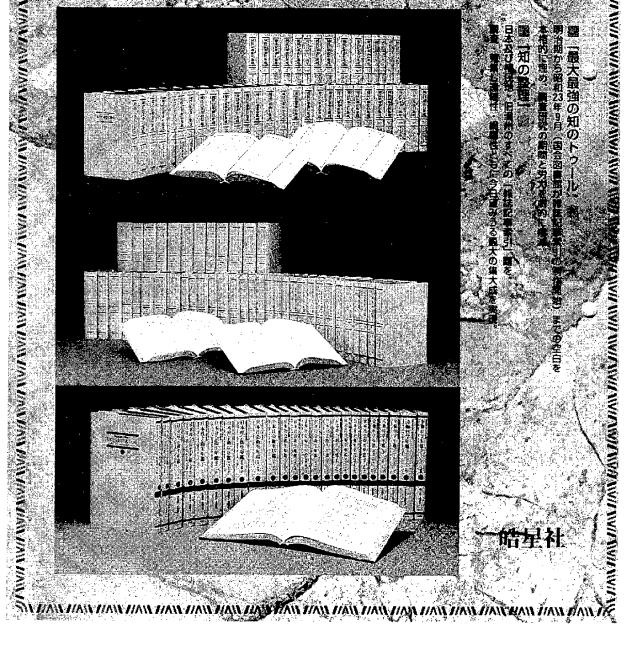


		•



明治·大正·昭和前期

社会科学編》人文科学編》、再門書誌編



館の雑誌記事索引作成開始の年)までの、雑誌記事索引 この雑誌記事集成は、明治初年から昭和23年(国会図書

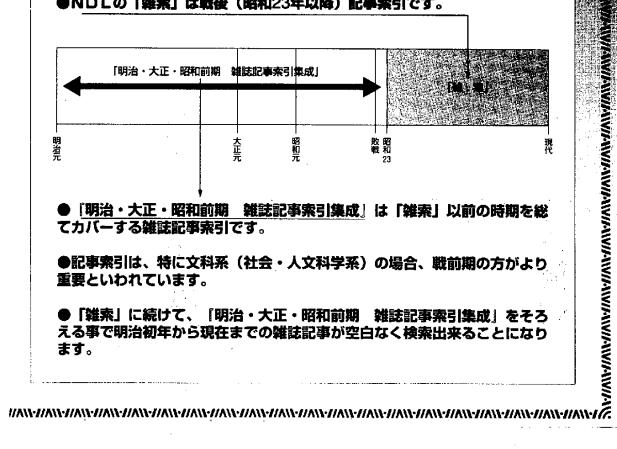
き、活用自体が困難なため多くは分散し、埋もれてしま れているため書籍態の累積版を刊行した少数の例外を除 これらの索引類の多くは、専門雑誌などに連載・分載さ

したがって、戦前期の雑誌記事を調べようとした時、こ

「集成」をチェックすることは、いま日本で可能な限

調査の能率が劇的に向上するばかりでなく、調査の遺漏 この集成の刊行により、膨大な時間と労力を要する文献

)NDLの「雑衆」は戦後(昭和23年以降)配事索引です。



年代	786774' 75 -78 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89	90 91 92 93 94 95 96 97 98 96 1906 01 02 03 84	05 06 07 08 09 ID 11 12
井会科学一般	1後 社會保証符符		21 - -
TAIT?			
近代アジア (含南洋)	がはまる。		- 44
i	維応記事系与果双		
	往云科字編年表		Ì
			į
10 治	· ·		4号「致法法律建筑に
	7年6年 组改程设计会员文献版		
法律	2. 海内能器施攬精費(正編)	<u> </u>	34(88)
	7卷6卷 油效碳温社会施文起版		4県「政治法律経済に無
		•	
		50學 `大学高等專門学校教	職員 新聞放日前、(株文の第9日1003-11
経 済 (含商学)	20 法持续法院的第三次		3年(基礎)
	7年8年 法改任法社会协工抵销		4章 [最近最为学符]
	34号「祖君学参考文献持」「祖君学文献特法」「盧原倉理化」「盧原	6項化化に関する発文資料目録、「産業合理化ニ国スル解文資料会引目録」	
社 会"。 《念都市問題》	7条5卷 法政政法行金额文档算	49卷 税益地理学文献税益。	
			.
, °	to the second se		· .
# #	33番 林県林学二路スル論文及香蜜分類目誌 (第1時,都2時) 台灣時	素味学ニ稗スル論文教養分類資料 :	
(科殊)		50\$	1大学高等库門学校整理員 老者施文目録: 4
ļ			
<u> </u>			i
. 45	1		
年代	1867~ 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 69 90 9	92 93 94 95 96 97 98 991900 01 02 03 04 05 06	07 08 09 10 11 12 13 14
人又一級	雑誌記事索引集成	29年「新聞服師時間一束」	29巻「新聞報請聖帛」
思想 哲学	人文科学編年表		
 			11卷 [結合協主施文要目]
	214 1	を学研究の早!「文句接收益か引」5日本歴史地理論文目録! 21年 [-	多近屋史論理学界片影)
		34巻「新刊旅館込の存古費料」	34条「秦近寺古学園係資料」
1		43卷 [建鐵路兩個等等施立一揆] [國際史研究資料銀孔]	
ļ	•	24卷 "日本斯托纳集中泉方学施文舞日期引牌。	25
	38号 中国思想·疾险、文化原保	施文目録: 女学・哲学・全学・文献目録10中国哲学・原理 画	
東洋史地理	文明11位4千世 最60	至史学院体战略的要冲土脑文學目.	
東洋 史理育	1967-74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	医全甲腺体结构转更冲之論文要目.	
東洋 史 理 教 育 屋俗 民俗学	398 #*PATERX	医女学院体践确就要 洋土油文學目	
東 洋 史 理教 育 屋 俗民俗学 建	398 #*PAITEX	至交甲時分越機就要洋大協文要目 10号 "大學要被功論文章列"	
東 洋 史 理 教	398 9*HSITEX	至交早時体球機就要洋大協文要目。 10番「大意要被海峡文命列」	
東地教 屋縫 映 文学 祭 芸 学	398 9 TOSTINX	至文学研练組織教育洋文論文章目。 10号"大多面被功能文章引] 1 ~ 3 号「四届四文研究集验金引(1) (2) (3)	
東地教 居住 海	398 # WAITEX	至文学研究技能教育评文协文學目 10号"大学高格特施文學別』 1 — 3 等「国际国文研究体验等別(1342)(3)	ATT (####)
東地教 風俗 保留 海	398 #TEMINX	至交甲時後越續就實沖之論文章目。 10年"大章直接傳統文章引" 1一日等「四國四交称交集論章引(1)(2)(4) 20年 [章刊集的編記][蔡原國建文中展見](新於團練)	7年一百] 27巻(新規製品
東地教 屋谷 祭芸 学 文 学 学	398 #TRAITEX	至交甲环环球機對面沖大帥文章目 10号 "大章是被功能文章引" 1 一 3 等「四級四文研究就論争引(1)(2)(3) 26号【取刊兩的問題】「原來問題又不思見」「新於團婦	7字──聖] 27巻「新聞前 記
東地教 風速 映文 空理育 学祭 芸 学	398 9 TOTAL	理会学院体験教育学文協文書目 10号 「大学高者協議文章列] 1 ー 5 号「広脳四文研究協議会刊(1)(2)(2) 20号 「南刊明的開設」「原花開設文学研究」「新校園域 41号 - 明治大友宗教大夫会」	文字一覧) 27番「衛衛戦局
東地教 風遊 映 文	398 9 TOTAL	理会学院体践教育学文协文書目。 10号 「大学高校協議文章列] 10号 「大学高校協議文章列] 10号 「大学高校協議文章列] 10号 「大学高校協議文章列] 10号 「大学高校協議会列(1)(2)(3) 20号 「最初開始開設」「原知開選又学研究」「新教園協 41号 ・明治大学教教大名章。 42号 「明治文学教育会大変」「使用治文学教育会大変」	文字一篇) 27番「研閲集队
東地教風建映文學理育学築芸学	398 ************************************	日の中では 10号 「大き屋信物技文件列] 10号 「大き屋信物技文件列] 10号 「大き屋信物技文件列] 10号 「大き屋信物技文件列] 10号 「大き屋信物技工学列] 「新元屋は文字研究」(新発書館) 41号 ・明治大大学教大学教 41号 「明治文子が発展が変」(新明治文小形成論大製) 40号 「明治文子が発展が変」(新明治文小形成論大製)	文字一覧] 22 巻 「新聞館」
東地教 風魂 映文 英西東地教 風魂 映文 英西	396 中国芝生・東社・文化研究 396 年刊2月東文 396 年刊2月東文	至文学院体建确装置冲大脑文章目。 108 "大章医验物独文命引] 108 "大章医验物独文命引] 108 "大章医验物独文命引] 108 "大章医验物独文命引] 108 "大章医验物独文命引] 108 "大章医验物独文命引] 108 "有效大型的数点"(108 "在现现这次中最美」(新统图》 418 "将放大型的大龙虎" 408 "现代日本文学大龙虎" 270 《西洋文文群日等》[《双西洋文学界展播》]《初约14年	27基「新微線 27基「新微線 27基「新微線 16年度数国際洋大学界の状況」

17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 (報2) 28 29 30 31 32 33 34 35 36 日中戦争 37 38	39
等「新刊終文學於豐原記事」:1):12等「新刊祭文修辞集要記事」(2) 28等~30卷(主要解除論文-覧)	57464年「工政日誌」
	64年「那陸枚集者一覧」
参引目録 (3) 16巻 申引目録。(2) 19巻 申引目録。(3) 20巻 (申引目録 (3)	65章 科学年後、第1章
35年~39年 [新生殖政際非同位而要記事如刊] 36年~39年 [文原海際同位施及事記事如	5711 674#3#
37學38學「澳際支部時任皇帝記录	● 引】
	6章(大東臺灣科紀寶
50条 (邦文陵故皇臺記事余() 南方之年) 60条 (場種 南方文献日韓)	
61 W MANAGAT	新典性に乗り対
99(28)	A STANDARD TO A
祖波法律又献目録。 15番16巻(新波法律又献目録。	
9春(浪氣)	•
等(維於論文一頁)「法律論理」(料例研究 福祉)	
14年「法律論理」(『法律計論》 指数) 26年~20年 「法律論理」 41年~45年 [法律	(基图) 56-\$57·思59·琴 [法律論語]
36年~39年 51年~52年 [1]青福漢字文献目錄]	
経済法律文献日報 15巻16巻 福済法律文献日報! 26巻~30巻 [最近の経済学界] 41巻~45巻 [最近の経済学界156号「最近の原演学界」 60号「最近の文献」
38号39号(文献解雇) 51卷~57 9号(油集) 51卷52号「内国政政委员论等	
	
47卷 经消学文献大组 [祖2 张 雷爾金融縣 上] 48卷 经消学文献大概] [第3 卷 斯爾金融縣 下]	
49年「滋治学文明大阪」(第4号 改工集)	
94(油面)	
15-916年(福河法市文献日等) 17-9-[-等市内型抽样起来中引「但市间阻阻从起来会引」26-9-30-941-9-	(85巻:部市財産初は工業日間: 15巻 36号57号50巻
25年(東京市電社会局重要要記事) 社会医園局後主要単位記事目的	
58章 (金令を中心とせる労働降係文献目標) 70章 (最付生送文献日報)	59- 【外衛附額文献】
70巻 「眼検日本の農村研究に関する文献目録」	DOM: 17 WHALK
15毫16卷(极演运排文献目錄) 31卷:微学文献目錄)(模14個)	
32章(風 2 報)	
24: 46是 祝汤学文献大概 [集1 章 財政國]	
·	
9 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 23 34 35 36 37 38 39 40 41	42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 58 57 58 59 60 6: 62 63 64
16年 [記事報]	963章 [文献日辞 1] [文献日辞 2] [新聞練講妹報音物一覧]
	- Geo- 14年 - 日本 - George - 科学学組織 3 年 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 -
29年「周辺原元明日」 29年「祖知原用] 29年「周辺原元明日」 29年「祖知原用] 9年「周星年前老坂市)	963章 [文献日辞 1] [文献日辞 2] [新聞練講妹報音物一覧]
164 [被告項] 294 [被無罪刑] 294 [被無罪刑] 294 [被無罪刑] 294 [被無罪刑] 294 [被罪刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑刑	- Geo- 14年 - 日本 - George - 科学学組織 3 年 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 - 日 -
16年 [被帝國] 29年 [超級原因] 9年 [周盟等限長日] 9年 [周盟等限長日] 10年 [最近三方年開始中間(韓文日韓) 12年~15年 [昭和~16年の國史学界]	中央の年 久成日前 「文献日前 2 」 (新聞報報後報を第一覧 中央の日本 11年 予算課 1 第一 日本
164 (接电弧 294 (接触原因) 294 (接触原因) 294 (接触原因) 94 (重量学研究规则) 314 (最近五大年間世界研究规则因数) 124-154 (原始4-16年の国史学界) 224 (接文一句) 224 (接文一句) 224 (接文一句) 2	
164 (接电弧 294 (接触原因) 294 (接触原因) 294 (接触原因) 94 (重量学研究规则) 314 (最近五大年間世界研究规则因数) 124-154 (原始4-16年の国史学界) 224 (接文一句) 224 (接文一句) 224 (接文一句) 2	中国
16条「接条項 23条「国政等項表目 23条「推動原列 23条「推動原列 23条「推動原列 23条「重要字前を認用 23条「通立エカギ原哲学育及論文目論 23条「第三条子符 23条子子 238-子子 23	
104 [被申項] 224 [被被罪目] 224 [被被罪目] 94 [发展学典总想用] 94 [发展学典总想用] 314 [最近正力年間哲学课院施文目版] 124 - 154 [第64 - 164 の 國史学用] 224 [第64 - 164 の 國史学用] 225 [第2 - 164 - 164 の 國史学用] 226 [第2 - 164 - 16	中国
16年 [被管理] 16年 [被管理] 19年 [東京年前党委符] 19年 [東京年前党委符] 19年 [東京年前党委符] 19年 [東京五方年開管平開(議文日談) 19年 19年	中国
164 [被禁锢] 294 [被禁锢] 294 [被禁锢] 94 [发星年间免损制] 314 [最近至力年間管于管理的文目的	中国
164 [全年4] 164	○ 日本日本 日本 日本日本 日本 日本日本 日本
164 [全年4] 164	○ 日本日日 日本日日日 日本日日日日 日本日日日日 日本日日日日 日本日日日日 日本日日日日日日日日
29年「国政等限集日」 29年「重要学術を想象) 31年「最近五ヶ年間世界構成政日路」 12年~15年「衛和4~16年の国史学育」 22年「成立一覧」 23年「陳文一覧」 23年「陳文一覧」 23年「陳文一覧」 23年「陳文一覧」 23年「陳文一覧」 23年「陳文一覧」 34年「最近日本学院協議文 日 日本 5年 7年	○ 日本日本 日本 日本日本 日本 日本日本 日本
164 [全年4] 164	○ 日本日本 日本 日本日本 日本 日本日本 日本日本 日本日本 日本 日
16-6 [後帝祖] 29-6 [祖廷原刊] 29-6 [祖廷原元年度] 29-6 [祖廷原元年度] 29-6 [祖廷原元年度] 29-7 [祖廷原元] 29-7 [祖廷	中央の第一(文献日報: 「文献日報: 「文献日報: 2」 「新聞報報報報告第一覧 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日
16-6- [接受4] 19-4 [接近原日] 19-4 [接近居日] 19-	中央の時 文献日報 「文献日報 2 「新聞日報 3 「
16条「投資車」 16条「投資車」 29条「開発手術を認用 31条「最近五大年間世帯開放政策 31条「最近五大年間世帯開放政策 23条「加文一覧 22条「加文一覧 22条「加文一覧 22条「加文一覧 22条「加文一覧 22条「加文一覧 22条「加文一覧 22条「加文一覧 23条「加文一覧 23条「加文一覧 23条「加文工作 23条「加文工作 23条「加文工作 23条「加文工作 23条「加工工作 23条(加工工作	中央の時 文献日報 「文献日報 2 「新田田韓政権を参与。在 中央の
16条「接条項 29条「国政部開発目 29条「推動原用] 31条「最近五大年間世帯開放教工目前 31条「最近五大年間世帯開放教工目前 12巻 15巻「原施・16年の歴史学育 22巻「協文一覧」 2 12巻 16巻 (原施・16年の歴史学育 23巻 協文一覧 23巻 協文一覧 23巻 法学基等国門学科 23巻 日安地理学院(集設工工程 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	中央の
16年「政治原理集団」 29年「政治原理集団」 29年「政治原理集団」 29年「政治原理集団」 29年「政治原理集団」 20年「最近五大年間世帯研究教文目録] 22年「第2年15年「原配4-16年の歴史学問 22年「除文一覧」 23年「陳文一覧」 23年「陳文中の歴史学問 34年「康文中の歴史学問 34年「康文中の歴史学問 32年「陳文中の歴史学問 32年「陳文中の歴史学問 32年「陳文中の歴史学問 32年「陳文中の歴史学問 32年「陳文中の歴史学問 32年「陳文中の歴史学問 32年「陳文中の歴史学の歴史学問 32年「陳文中の歴史学の学 32年「陳文中の歴史学	中央の時 又東日報 「文献日報 2 「京献日報 2 「新聞報報報者等一覧 2 日本 2 「京献日報 2 「新聞報報報者等一覧 2 日本 2 日
16条「接着車」 16条「接着車」 20条「開展手術を想象 31条「最近五大年間世早間(数文目録) 31条「最近五大年間世早間(数文目録) 22条「最近五大年間世早間(数文目録) 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 23条「第次年間回路で 23条「第四回路で 23条「	中央の第一名教育 「文献日報 2 「高田田韓政権者争一覧 日本の第一名
16条「接着車」 16条「接着車」 20条「開展手術を想象 31条「最近五大年間世早間(数文目録) 31条「最近五大年間世早間(数文目録) 22条「最近五大年間世早間(数文目録) 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 23条「第次年間回路で 23条「第四回路で 23条「	中央の第「文献日前 「文献日前 2」「新聞日前 4・文計等文献日前 4・文計等文献日前 5・5・2年・文献日前 4・文計等文献日前 5・5・2年・文献日前 2 2年・前年・文学・文献日前 2 2年・新聞日前 2年 3・2年 3・2年 3・2年 3・2年 3・2年 3・2年 3・2年 3
16条「接着車」 16条「接着車」 20条「開展手術を想象 31条「最近五大年間世早間(数文目録) 31条「最近五大年間世早間(数文目録) 22条「最近五大年間世早間(数文目録) 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 22条「第次一覧」 23条「第次年間回路で 23条「第四回路で 23条「	中央の第一名教育 「文献日報 2 「高田田韓政権者争一覧 日本の第一名
16.0- [接触原因	中央の
16年 [接來] 16年 [在來] 16年	中央の
16年 [被称形] 16年	中央の
16.0- [按索性	中央の
104 [日本年刊 104 [日本年刊 104	中央の時 文献日報 2 「京献日報 2 「京献日報 2 「京献日報 2 「京献日報 2 「京献日報 2 「京献日報 3 日本の 2 「日本の 2 「京献日報 3 日本の 3 「京献日報 4 「文計英文献日報 5 日本の 3 「大学・哲学・文学・文献日報 4 文計英文献日報 5 「京都日報 5 「大学・哲学・文学・文献日報 4 文計英文献日報 5 「京都日報 5 「大学・哲学・文学・文献日報 5 「京都日報 5
16年 [被称形] 16年	中央の

	12 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15	昭和一〇年	(国·支那関係雑誌重要記事樂引 (T東里)	邾] 揭戴)	Ħ	維持図書重要記事案引(『独教師を月報』掲載)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	士AK圣育 包护文财目录(Ftextender)号取的超流学文献解现(南西南部第学书研究院集)提前)	昭和一〇年度商学・商事関係法・経済史・	内国雑誌重要記事索引 (「経済時報」 楊載)	第三九巻	昭和九年 、	機械)(2017年日日)(2018年日)では、1918年日)では、1918年日日)では、1918年日日	左那。 簡州 蘇閉系 维诺重要记事 勢引(東亚)(1)	市支・南洋関係重要配事索no(南支部及南洋情	_		商業学校研究論集』掲載)	昭和九年度経済学社会学文献解題(高岡高等)	班 利 才名 所 在 等 數 沙 叉 了 他 角 题 二 海 网络多 用			昭和八年 1998年 1	支那時間影響系置要記載数引(「角吹舞客月版」場故)洋情料」掲載)	南支那及南洋関係重要配事索引(南支那及南		Я	社会経済史学文献目録(『社会経済史学』掲載)	簡葉学校研究論集「掲載)	2007、Figure 5 中国全省地区大大学 (1889)89。 原学校研究解》(科明)	会学文献解題(高四高等商	佐路重要記事 索引 (1程済時報) 掲載)	第三七卷	昭和七年	洋伽和「担歌)
in a second seco	巻 商工編] 巻	【第二巻(貨幣金融編	大正八年—昭和八年	第一卷		昭和一五年	都市問題雜閱係新文献(「都市問題」掲載)	殿近の経済学界(「国民経済維修一場敷)) (1944年8月 1958年8月	主要雑誌記事一覧(『出版管察資料』掲載)	第四五巻	昭和一四年	都市問題関係新文献 (「都市問題」 掲載)	最近の経済学界(『国民経済雑誌』掲載)		李志记 有一篇 二丝波斯聚药科	昭和一三年	都市問題関係新文献(都市問題)視象)	最近の経済学界(国民経済権証)掲載)	法律論題 (『法律符論』掲載)	主要維防記事一覧(「出版警察資料」掲載)	郑和二年	都市問題関係新文献(「都市問題」掲載)	最近の経済学界(国民経済雑誌)掲載)		2間氏性志记事一覧(出版静度资料)	日本	都市門 那 與伊勢 文献(参市問題) 伊命)	最近の経済学界(国民経済雑誌)掲載)	法律論題(「法律評論」 掲載)	《聞紙維誌記事一覧(『出版書祭資料』	界四一卷 -	第五回記本	明治初年—昭和一〇年	経済地理学文献総覧

大人ノコイ・人・シルス・ノコイ・人・シルス・ノコイ・人・シルス・国語の第一巻 動業諸級評目 動業諸級評目 動業諸級評目 ままる ままる ままる はんしゅう かんしゅう かんしゅん しゅんしゅう かんしゅん しゅんしゅん しゅんしゅん しゅんしゅん しゅんしゅん しゅんしゅん しゅんしゅん しゅん	第一二卷 第一二卷 (二) (「程濟資料」 揭敷) 大正二十年—昭和六年 第一三卷 維誘論文一覧 (「法学協会雑店」 掲載) 法决律論理 (19月研究) 楊敷) 大正五年—昭和三年	大正一一年―大正一四年二月 第二三巻 雑誌 魔要記事目録 雑誌 魔要記事目録 第二四巻 第二四巻	明和一〇年 明和一〇年 明和一〇年
明治四一年—明治四二年 明治四二年—明治四二年 明治四二年 明治四二年 明治四二年 明治四二年	第一五巻 「京本」 「京本 「京本	大正十一年—大正一四年三月第九份一个財政、政治、外交、軍事・日韓第九份一个財政、政治、外交、軍事・日韓第八份、三社会問題・第八份、三社会問題・第八份・三社会問題・本語・重要・記事・日韓・維諾・重要・記事・日韓・維諾・重要・記事・日韓・	大正一五年—昭和四年 東学文献目録 [第一輯] 第三一巻
明治四二年大正四年明治四二年大正四年明治四二年大正四年朝治四二年大正四年明治四二年大正四年明治四二年大正四年明治四二年大正四年明治四二年大正四年明治四二年大正四年明治四二年大正四年明治四三年大正四年明治四二年大正四年明治四三年	大正 五年 昭和五年 天正 五年 昭和五年 大正 五年 昭和五年	大正九年—昭和一〇年社会問題開發社会問題開係主要維誌記事[日本分別年度] 拘載) 经正规转换 计会問題 開係主要維誌記事 目錄(「月刊大原社社会問題開發社会問題重要記事(日本分別年度)将載)	林樂林学二関スル論文及審書分類目録 [第一輯 第三三巻 昭和五年 三十 報] 第三二巻 第三二巻 第三二巻 第三二巻 第三二巻 第三二巻 第三二巻 第三二巻
経済法律文献目録(第一輯—第二分母) 大正五年—大正一四年 東六巻 を経済法律文献目録(第一輯—第二分母)	新一七巻 第一七巻 第一七巻 第一七巻 第一七巻 第一七巻 第一七巻 第一七巻 第一七巻 第一七巻 第一七巻	第二六巻 (日本産業会) (「私市同風」 地震) 主要維助新聞配事一覧 (日本産業を) 地震) 地震) おお 間距維防配事一覧 (日本産業を) 地震) 地震) おお 間配事一覧 (日本産業を) 地震) 地震) おお 関配事一覧 (日本産業を) 地震) おお (日本産業を) はまた (日本産業を)	者 書 分類 目録
明治初年—大正一五年六月第七卷	昭和二年—昭和八年第一九卷 (第二分冊) 清鉄調査 (第一分冊) (第二分冊) 第二十五十二年—昭和二年	最近の経済学界(「国民経済雑誌」掲載)法律論類(「法律評論」掲載)主要雑誌新聞記事一覧(「出版警界租」掲載)第二七巻	明治初年―明和六年 東治初年―明和六年 東京初年―明和六年 東京 東京 東京 日報 東京
明治初年—大正二五年六月	昭和二年 昭和八年期十二十二年 (第二分章) 漢人 計算 (第二分章)	昭和七年 昭和七年 「昭和七年	「1937年にありて、1954年により、 内国雑誌重要記事祭引(「経済時報」掲載) 第三五巻
大正一五年七月一昭和二年法政 経済 社会論文総覧 (追言)	第二一卷	受圧の発音が早、1787も28年と、8827)を発売し、1887年に、1	(南文那及南洋関係重要記事物引(南文那及南湾関係重要記事物引(南文那及南洋関係重要記事物引(南文那及南洋関係重要記事物引(南文那及南洋
明治的年—大正二年期治的年—大正二年期治的年—大正二年期,一〇十年	大正1一三一大正1四年一号 第二冊 C金融 D保険取引所及倉庫 第二冊 C金融 D保険取引所及倉庫	昭和八年 明和八年 明和八年 明和八年 明和八年 明和八年 明祖	内国維結重要記事索引(「経済時報」掲載)第三六巻
	第二二巻	第二九卷 第二九卷	研究發集 (周載) 本邦経済学社会学文献解題 (『高岡高等商業学校

第三〇拳 日本史九 弗二九卷 维赫記事一般二 第二七卷一新聞,能吃文学一覧二 第二八卷 新聞雑誌文学一覧三 第二五卷 外国研究三 第二四卷 外国研究二 第二三拳 日本史八 **郧二六卷 新聞雑誌文学一覧** 明治二八年一月—昭和七年一月 明治四二年一一月十大正七年一二月 昭和一三年—昭和一七年 学品 《 地理学編 》 大正八年一月—昭和一九年 大学高等専門学校教職員著書論文目録 (歴史 維結新聞賽目(「因学院雑誌」掲載) 新聞紙雑誌管見(「国学院雑誌」提載) 新聞雑誌時言一束(國学院雜誌) 持載 新聞雜誌文学一覧(『早稲田文学(第三次)』掲載) 新聞維轄文芸一覧 (『早稲田文学 (第二次)』掲載) 明治二四年:二月—明治四二年一二月 明治二七年—昭和一四年 明治一四年—昭和八年 日本期刊三八種中東方学 創作・評論・戲曲(『早稲田文学(第二次)』 掲載) 新聞雑誌文学一覧(『早稲田文学(第二次)』掲載) 新聞雑誌文学一覧(「早稲田文学(第二次)」掲載) 新聞雑誌文学一覧(『早稲田文学(第二次第三期)』掲載) 新聞雜誌文学細見(『早稲田文学(第一次第二期)』掲載) 昭和五年一二月—昭和一八年九月 紀文一覧 (「思史忠里」 背景) 文一覧 (「歴史地理」掲載) 新刊 新聞 紙雑誌(『早稲田文学(第一次第一期)』 掲載 論説 一覧(「歴史地理」 楊載) 歷史地理学關係論文目録 二関スル論文并図書目録 (『歴史地理』 掲載) 七五種日本期刊中東方学 線文篇目附引得 論文體且附引得 最近史学関係論 **史学文献目録 一九四六—一九五〇第三六巻 日本史一〇** 第三五巻 考古学・民俗学二 第三四巻 考古学、民俗学一 第三二十巻 教育 一 第三三等 文学一 第三一拳 思想·哲学二 第八宣量本 文学・哲学 - 史学・文献目録 八 日本古代史編 昭和三年一〇月—昭和一〇年七月 明治三七年一月—昭和一九年七月 最近考古学関係論文 (『考古学雑誌』 掲載) 最近考古学関係要目(『考古学雑誌』掲載) 最近考古学関係資料(「考古界」掲載) 昭和六年五月--昭和二三年六月 昭和六年七月一昭和一八年二月 学界消息 (「民俗学」 掲載) 風俗史に関する雑誌要目(風俗研究」掲載 新刊諸雄誌の考古資料(『考古界』 掲載) 戦後主要論文文献目録 《『文学』 掲載 最近日本文学研究文献目録 (『文学] 掲載) 図書教育に関する文献(教育 掲載) 昭和三年一月--昭和1二二年一二月 第一輯 規載) 雑誌・豊棚(『ドルメン』掲載) 雑誌分類要目 (「文学」 将載) 推聴要目分類 (「文学」 掲載 在外邦人子弟の教育関係邦文文献 (「教育」 掲載) 教育科学的研究資料(『教育』掲載) 六種 (掲載) 本邦移植民・拓植教育関係文献 (『秋戸] 初郎 教育文献(『教育』掲載) 論文 目録(『哲学年鑑(埼文社刊)第二版』掲載) **論文 目録(『哲学年鑑(埼文社刊)第一段』掲載)** 最近五ヶ年間哲学関係論文目録(『哲学論系 最近五ヶ年間哲学関係論文目録 (音学論表 第四四卷 西洋文学・語学一 明治大正短歌大年妻第四一卷文学二 第四〇巻 仏教学 | 第三九卷 東洋史二 第三八卷 東洋史一 第四三卷 日本史一一 第四二巻 文学三 第三七卷 西洋史一 第九回配本 文化系文献目録 語学編 文学・哲学・史学・文献目録 二 西洋文学 維新史研究資料索引 究」「明治文化」掲載) 明治元年—明治四五年 明治元年一大正一五年 明治初年——昭和一〇年三月 明治初年—昭和一〇年一二月 明治初年—昭和三四年六月三〇日 昭和二〇年八月一五日~昭和三九年一二月三:日 文学・哲学・史学 文献目録 九 西洋古典学編 文化系文献目録 一二 西洋文学・語学続篇 大正一五年—昭和一九年 精維 誌所 載 参考論文 一覧 宗新旧時代』「明治文化研 統明治全小説戲曲大観 明治全小説戲曲大観 改訂增補 仏教論文目録 論文要目 增刊改訂 邦文歴史学関係諸維誌 文学·哲学·史学·文献目録 一〇 中国哲学· 中國思想,宗教,文化関係論文目録 (和文) 明治初年—昭和一八年 昭和一一年―一六年度我国西洋史学界の状 西洋史文献目録 ([史報] 視象 昭和二一年一月—昭和三二年 況(「史学雑誌」掲載) 我国西洋史学界展望(「西洋史研究」 掲載) 一八 西洋文学・語学続々篇 東洋史 第五〇巻 思想・哲学三 第四九卷 国际区,国文学九 第四八巻 国籍・国文学八 第四七卷 文学五 第四五卷 教育二 第四六卷 文学四 第十回配本 昭和二〇年八月一昭和三八年三月 文化系文献目錄 一六 倫理学編 昭和一一年一月—昭和一五年:二月 万葉集研究年報 第一一輯 万葉集研究年報 万葉集研究年報 万葉集研究年報 万葉集研究年報 第七輯 明治元年——大正一五年 文学・哲学・史学・文献目録 四 宗教関係学術館 大正八年—昭和一〇年一二月 万葉集研究年報 第六輯 万葉集研究年報 万葉集研究年報 万葉集研究年報 万葉集研究年報 万葉学年報(「心の花」掲載 昭和二〇年(一九四五)九月—昭和三〇年一〇月二〇日 昭和二〇年八月—昭和三二年三月 万葉集研究年報 現代日本文学大年奏 (現代日本文学全集別巻) 文化系文献目録。 二一日本文学院 文学·哲学·史学·文献目録 一 日本文学館 史学·文献目録 一 日本文学院 戦後における教育関係論文目録 文学・哲学・史学文献目録目 七 第八輯 第四輯 第九輯 第五輯 第三輯 第二輯 第一〇輯

~///\\-//A\\-/A\\-/-A\\-/-A\\-

教育学组

第六六卷 第六五卷 第六三卷 第六二卷 第六一巻 第六〇巻 第五八巻 例六四卷 绑五九卷 第七回配本 昭和100年-昭和110年 昭和二〇年八月―昭和二二年 昭和二〇年―昭和二三年 明治初期—昭和一九年 昭和二一年一昭和二四年 文献目録(二)(「人文」 掲載 文献目録(二)(「人文」 掲載 国際法及国際私法論競争輔 昭和一〇年―昭和一九年 鮮満関係重要維誌記事目録 (『文献報図』 掲載) 昭和三年—昭和一人年 昭和二五年—昭和二七年 科学年鑑多第二集 科学年经路 第一集 雜誌執筆者別一覧 (「書評) 掲載 鲜満関係図書目録(「京城帝図大学法学会論集」掲載) 昭和一七年 增補南方文献目録 邦文雑誌重要記事索引之部 付録二 研究の栞 (『南洋文献目録 第一版』 掲載: 太平洋問題研究叢書 [増補第二版] 昭和一八年—昭和二〇年 文献月報 (「経済学雑誌」 掲載 法律論題 (「法律評論」 搭載) 大東亜資料総覧 文献月報 『程茂学雑誌』掲載 都市問題関係新文献 (「毎市問題」 掲載) 最近の文献(「国民経済雑誌」掲載) 維結重要記事索引(「海鉄資料量報」掲載 南洋文献目編 第六九巻 第三巻 国語・国文学三 第二十巻 国語 中国文学二 第一卷 国語・国文学 第一回記本 第六八卷 第六七巻 界七〇巻 明治初年一昭和一〇年 明治初年——昭和五年 明治初年—昭和三年 八年三月臨時増刊号掲載 究」掲載) 労働問題文献目録(『労働年集』掲載) 国文学年鑑 第一臂 引換数 维誌|要目(「国語・国文」 掲載| 国語国文研究雑誌樂引 (1国語 国語国文研究維結索引 (二) (「国語・国文」 昭和 方言参考資料目録 (二)・(三) (1国経国文の研 国語学附書語学参考論文目録 (「国語と国文学) 国語国文研究雑誌樂引 (二) (国語国文の研究] 掲載 昭和二八年—昭和四九年 戦後日本の農村研究に関する文献目録 昭和二二年—昭和二六年 法令を中心とせる 都市問題文献日録 最近の文献(国民経済雑誌)掲載 国文学年鑑、第二世』掲載 维肺所戴論文目録内容一覧 維諾所戴綸文目錄內容一覧 昭和二二年—昭和二五年 科学年鑑 農村生活文献目録 (文科学編 第三集 労働関係文献自録 国文 第二十十二国际 第一輯 掲載 (A) 国际 第一三卷 日本史三 第一二卷 日本史二 第一一卷一日本史一 第一〇巻 芸術・文化 第九巻 思想・哲学ー 第八卷 外国研究 界六拳 国籍·国文学六 绑七巻 国語・国文学七 **秀五巻 国語・国文学五** 第三回配本 昭和一一年の国史学界 昭和一〇年の国史学界 昭和九年の国史学界 昭和八年の国史学界 昭和四年—昭和七年 昭和七年の国史学界 昭和六年の国史学界 昭和五年の国史学界 明治初年-昭和一三年四月 明拾初年—昭和一七年 大正八年—昭和一九年 大正一五年八月—昭和二三年一二月 昭和二〇年八月—昭和三〇年 昭和一三年一昭和二三年 第三回記本 | 10日本 日本史| 10日本史学界 | 10日本 | 10 昭和四年の国史学界 大東亜建築論文索引 東亜学術思想界(所文) 文学・哲学・史学文献目録 昭和一三年—昭和一五年 国文学年鑑 第三輯』掲載 総合国史論文要目 新聞雑誌英学一覧(「英語青年」 掲載 国語国文学論文目録 大正一五年—昭和一二年 雑誌要目(「国語と国文学」掲載 雑誌要目(『国語と国文学』掲載 **维誌所載論文目録内容一覧**



		<u> </u>	<u> </u>	7
			,	
社会	会科学編			
総	自次			
				,
Ì		28 社会科学福 第5卷		
		【社会科学編 第5巻】	•	
		経済法律文献目録 (大正5年~大正14年)		
<u>.</u>		昭和2年10月25日 発行		
s. . Na		著作者 神戸高等商業学校商業研究所 発行所 〈株〉大阪宝文館 〈株〉宝文館		1.
		経済法律文献目録 第1門 経済・経済学		
		(1) 経済学一般 全海·最孝·辞寄 著書(一般) 獻書(竹字·方法論 各国経済学の傾向 数理経済学 経済学者	…般) 経済 と並学器 器	
		(2) 経済一般(3) 富・財・財産	11	
		(4) 価値・価格···································	18	
		(6) 労働 参照=第5門(2)ノ内労働問題…般(7)資本		
		(8)資本主義 (9)所得分配 較地代貸銀利子利潤 (10)消費	23	
		(10) 相賛・ (11) 人口 参照=第6門(1)人(1 (12) 国際経済・世界経済 参照=第4門(6)国際経済級	27	
		(12) 国际证何, 医乔曼伯 参照 = 第4 m (10) 国际证何和 国際貿易 国際商業數	28	
# 1 10년 13년		(14) 大戦経済 参照=第4円(6)ノ内 [霧逸路貨問題]、 15円(3)ノ内 [一般] 一般 各国大戦経済	[載倩問題] 第	
		(15) 震災経済 参照=第3門(2)フ内 [冀災と財政] 同 災復興予算] 第14門(19) 実災金融 一般 救護、算後	(3) 7内 [震	
		(16) 経済学史 (東洋) (17) 経済学史 参照=第1門(1) ノ内 [経済学者と其学) 般 古代・中世 スミス以前 正統派経済学 アダム・ス		
4		第2門 経済史・社会史 (1)経済史・社会史一般 歴史・股 経済史・収 雑 ······		
		(2) 日本 日本社会史一般 日本経済史一般 上古 中古 近世 時代 朝鮮 雄	红万時代 明治	
•		(3) 西洋 一般 各国史 基督教経済史 産業革命 (4) 支那 一般 年代別	60	
		(5)家族制度·奴隸制度 家族制度 奴隸制度 (6)晨制·土地制度·村落団体 隐剧及晨民 莊園及上地	制度 村落団体63	
		(7) ギルド・座・組合 № ギルド 組合 第3門 財政学・財政 (1) 財政学一般		
		(1) 肝較字一般(2) 財政一般・財政時論・財政問題 財政一般 財政時 級・財政方針 財政整理 財政諮問題 渡災と財政	育⋯般 財政演	
		(3) 歲計、予算、会計法、予算、論計、 計法、合計制度、特別会計	[論 震災予算 会	
		(4) 租税一般 参照=第12門(2) 関税政策·般 租税収入	.、租税時論78	
•				
L				- waxa an oga



人文科学編 第31卷 136

【人文科学編 第31巻 思想・哲学2】

最近5ヶ年間哲学関係論文目録(昭和3年1月~昭和7年12月) 「哲学論書 第1輯」掲載 昭和8年12月8日 発行

	1、哲学史一般及び雑	
1	(1) 古代哲学	
	(ロ) プラトン]
	(ハ) アリストテレス	
	(二) アリストテレス以後	.
	(2) 中世哲学	
·	(3) 近世哲学一般7 (イ) カント以前7	
	(コ) カント	
	(ハ) ドイツ観念論	1
	(ニ) ヘーゲル	
	(4) 現代哲学一般及雑	ļ
	(イ) 新カント学派	
	(ハ) 生の哲学	
	(二) 現代英米哲学	
	(ホ)現代フランス哲学	
	2、哲学一般及雑	
	(1) 形而上学	
	(3) 人間学	
	(4)世界観論	
İ	3、論理学及認識論	
	4 、数理哲学(数学)及び自然哲学(自然科学)22	
	5 、美学(自然美及芸術哲学を含む)	
	6、宗教一般及雑·······25 7、歴史及文化哲学 ······28	
	8、イデオロギー論29	
	9、国家哲学及政治哲学 (ファッシズムを含む)	İ
ļ	10、法律哲学32	
	11、社会哲学 (社会思想を含む)34 12、経済哲学	
	13、東洋思想	
	(1) 日本思想 (日本における思想をも含む)	
İ	(2) 支那思想(支那における思想をも含む)	
	(3) 印度思想(東洋思想)40	
	14、倫理学	
	16、教育	İ
1		
		1
!		
		-
		The same
/۸\\-//۸\\-//۸\\	######################################	M-//AN-//



INANATIANA-INANA

1000

4

.,,



```
有馬四之助 .....3-122.
                                       井浦仙太郎 ・・・・・・4-538、4-680
   有馬匹郎助 ······3-123、3-123
                                        井口丑二訳 ······4-375
  有馬純男 -------4-437
                                       井口正之福 ·····-4-562
- 井桁貞男 ------2-114、2-135、2-137
有松英美.....2-77、2-77、3-49、
                                       井坂幸 ・・・・・・・・・・・4-576
   3-112, 3-322, 4-490
                                       井阪秀雄闘 · · · · · · 4-427
  有吉三七氏.....1-170
                                       井関九郎 ·····-4-480、4-480
栗田万次郎氏 · · · · · 1-58
                                     井関十二郎 ……4-420、4-425、4-431、
栗津清充 ······2-235、2-235、2-235、
                                        4-437、4-443、4-454、4-461、4-509、
 2-235, 2-235, 2-236, 2-236, 2-237,
                                        4-526、4-550、4-583、4-599、4-662、
 7.238, 2-238, 2-238, 2-239, 2-239,
                                        4-697, 4-703, 4-710
 2-239, 2-239, 2-240, 2-241, 2-241,
                                       井関友一郎 · · · · · · 2-258
                                     井関十二郎者 ・・・・・4-682、4-717、4-737
    2-241, 2-242, 2-242, 2-242, 3-216,
    3-216, 3-216, 3-217, 3-217, 3-217,
                                        井出武雄 ……4-562、4-592、4-731、
    3-219, 3-358, 3-400, 3-400, 3-401,
                                         4-743
    3-401、3-401、3-402、3-402、3-403、
                                        井出株六 .....4.573
    3-403、3-403、3-404、3-404、3-404、
                                        井出口武治 ……2-301
                                       井上栄次 ……3-117
    3-404、3-404、3-405、3-405、3-406、
                                       井上忻治 ………2.97、3-2
    3-406, 3-406, 3-406, 3-406, 3-409,
                                        井上庫太 ………4-407、4-460
    3-410, 4-13, 4-21, 4-52, 4-116, 4-127,
                                       井上敬次郎 ·····-4-758
    4-127, 4-131, 4-134, 4-169, 4-190,
                                       井上謙作 ・・・・・・2-148
    4-229, 4-236, 4-240, 4-248, 4-259,
                                        井上準之助 ……4-94、4-408、4-433、
    4-259, 4-265, 4-274, 4-282, 4-282,
    4-289, 4-290, 4-290, 4-297, 4-297,
                                       4-444, 4-444, 4-535, 4-643
                                       井上数 ………2-48、2-53、2-302
    4-297, 4-305, 4-312, 4-312, 4-319,
                                        井上哲次郎 ······2-7、2-11、4-539
    4-326、4-333、4-333、4-333、4-340、
                                        井上友一 ………2.63、2-376、3-5、
    4-357、4-366、4-367、4-373、4-373、
    4-385, 4-385, 4-388, 4-388, 4-392,
                                        3-173, 3-345, 3-373, 4-177, 4-256,
    4-417、4-445、4-449、4-469、4-474、
                                         4-453、4-602、4-696、4-732
    4-481, 4-494, 4-494, 4-502, 4-503,
                                       井上豊太郎 ・・・・・・4-729
    4-513, 4-521, 4-521, 4-529, 4-529,
                                        井上伯 ………1-275
                                       井上仁吉 ・・・・・・・4-549
    4-538、4-567、4-576、4-585、4-602、
    4-610, 4-627, 4-627, 4-650, 4-671,
                                       井上文蔵 ・・・・・・・4-439
                                       井上雅二 .....4-419、4-441、4-462、
    4-671, 4-684, 4-684, 4-691, 4-732,
    4-744, 4-783
                                         4-491, 4-521, 4-564, 4-589, 4-590,
  栗津精亮 ・・・・・・・4-392
                                         4-597、4-598、4-624、4-784
  栗津清寛 ------4-464
                                       . 井上密 ………2-8、2-15、2-15、
  栗津清亮若 · · · · · · 4-326、4-357、4-477、
                                         2-17, 2-20, 2-23, 2-24, 2-25, 2-26,
                                         2-32, 2-34, 2-37, 2-41, 2-43, 2-45,
  栗原忠三者 ・・・・・・4-425
                                        2-50, 2-386, 3-9, 3-11, 3-18, 3-311,
  栗谷関一 ………4-425
                                        4-13、4-57、4-66、4-92、4-505
                                       井上義男 ・・・・・・・・2-188
  井内悌治 ・・・・・・・4-758
                                        井上亀五郎著 ……4-352
```

館ならびに、公共・専門図 野の研究者にし すべての大学研究室・図書 調査機関・シンクタンク つまり、日本の近代をフィ 文化史·思想史研究者 経済·法律·社会科学研究者 日本近代史の研究者 又学·言語学研究者 お役に立ちます ルドとされるあらゆる分

■編集委員………

石山 洋 東海大教授·元素引家協会会员 稻村徽元 格玉林真女子短期大学教授 大久保久雄 東海大学講師 堀 込 静香 美見大学女子短期大学部助教授

■推薦(50音順)・・・・・・

栗屋憲太郎(日本近代史) 岩猿敏夫(図書館学) 上宮正一郎(母子史) 紀田順一郎(作家) 芳賀 登(日本近世史)

藤原 彰(日本近代史) 前坂俊之(マスコミ曲) 松本侑作(アジア近代史) 山口昌男(文化人類学)

ě

第25 建建宁学等引集点 社会科学 全70章 野衛6 期度第1,368,000円度閉 東大界・上間クロス書・『岳号平均700頁』 定議合権 おたり18,000円 + 税(ただし分表不可)

配本/特行年月日 宣傳[編集] 第1回1994年11月 ■ 1~10号 180,000/9 第2回1986年 3月 第11~20巻 150,000円 集 3 個 1996年 10月 180,000円 180,000円 第5周1998年10月 第41~50巻 180,000 第6回1997年1月 第61~60号 180, 000円 第7回1907年 6月 第61~70番 180, 0007 本學合計……… ···-- 第 1~70章 _1,280,000円

別春(1)1997年10月 全1 春/韓日次·李長 8,000 对导(2)1986年10月 全5卷/宗教·執筆者案引

[919]

邓达斯特的宣言引擎度 人文科学师

±50巻 料像6 業定衛988,000円(別別) **強大利・上部クロス差・(合会平均700両)** 支援各番のたり18,000円+数(ただし分気不可)

配本/刊行年月日 第1回1995年 7月 第 1~ 8 章 90, 000FF 第2到1995年10月 第6~10号 第3日1996第12月 第11~16節 90.000F E 4 日1998年 3月 第18~20億 90.000@ 第5間1998年 8月 第21~25春 90,000円 第6間1998年10月 第28~10億 \$0.000FF 第7回1998年12月 第31-35章 90,00007 第8回1997年 6月 90,000 **第 9 間1987年**10月 96,000P 第10回1097年12月 第46~50章 90,000 本面会計…… - M 1~ 50M

[946] **附格(1)1908年 2月 金1 年/朝日次・年表** 8,000F

別學(2)1990年10月 全5個/病型-執動者部別 100,000 75 #639 3997 #F#1,065,000P(8#E B5啊・上脳クロス酸

配本/特行年月日 銀1回1997年 4月 第2 第1997年 7月 E 9~156 88 **期 3 間1997第10**長 第18~25章 10-15 **第4回1998年2月** #25~29**9** 48+3431 (坤 小畑) 第5間1908年 8月 **第30~37号** #**0+96**1 第6間1998年 9月 10+ST 1 (noteon) ec. 000F 第7回1998年12月 10013101 (REAR) 180, 000F 第51~62卷 在8回1900年 4月 60.000F #9回1994年7月 M54~88@ [82661] 100,000 第10回1999年10月 560 (東方部長 2] 100,000

発 行

TO WALL STATE STAT

2. 3 「戦前期雑誌記事索引」の制約

このように画期的な意義を持った「戦前期雑誌記事索引」ではあるが、未だい くつかの制約の中にあることも制作と利用の中で明らかとなってきた。

2. 3. 1 冊子体」であることの制約

111

「戦前期雑誌記事索引」は冊子体であるために以下の制約を受けている。

(1)「戦前期雑誌記事索引」=「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」は全120巻、記事・論文数100万件超、執筆者数30万人超、84,000ページ超の膨大なデータであり、購入の金銭的制約、保管場所の制約のために、大学図書館、公立の中央図書館以外への普及が困難である。

研究者は、好きな時に好きな場所で「戦前期雑誌記事索引」を利用することができない。

その結果、研究者を、研究の基礎・前段階である「重要だが長時間にわたる単純な目録作成」などの作業から解放し、より創造的な研究者本来の仕事に専念できる環境を提供するという本来の目的にもかかわらず、現状では、個人研究者の検索ツールとしてとは、経済的場所的な制約を受けており、図書館のレファレンス担当者のツールとしてより活用されている傾向にある。

(2) また、利用に際しては、目的の記事・論文を探すために84,000ページ超のすべてのページを精査しなければならない。

「戦前期雑誌記事索引」が存在しないことと比べれば格段に便利になったとはいうものの、未だ「単純な」作業から完全に解放されているとは言い難い。

2. 3. 2 「索引」「集成」であることの制約

また、「戦前期雑誌記事索引」は雑誌記事「索引」であり「集成」であるために以下の制約を受けている。

(1)「集成」であるために、記事・論文の重複掲載が存在し、折角、84,000ページ超の索引の中から数十点の目的とする記事・論文を探し当てても、実はそのうち何点かは、同じ論文、すなわち重複した検索結果となる可能性がある。

このことは、研究者・利用者に「重複した」作業を強いるものであり、 やはり、未だ「単純な」作業から完全に解放したとは言い難い理由となっ ている。

(2)「雑誌記事索引」であるために、編纂者が、その時期に注目記事をピック アップしたものであり、その時期のある雑誌の掲載記事をすべて網羅して いるわけではないことである。

このことは、2.2.1**戦前期雑誌記事索引」の有効性**の項で水野の事例でも確認したとおりである。

しかし、戦前期雑誌記事索引の不充分性は制約と言うよりは、前述したように、その有用性を十分に実感した上での「望蜀」の指摘であって、戦前期雑誌記事索引の充実のための新たな課題と捉えるべきであろう。

3. 「執筆者索引」の制作とデータベース化への第一歩としての WEB サ イトへのアップロードの意義と制約

「戦前期雑誌記事索引」は、その出版と同時に各界研究者から高い評価を受けたが、「高い評価」とともにそれゆえの「強い要望」をも受けることとなった。

その要望とは、前述した「戦前期雑誌記事索引」の「冊子体」であることの制 約、「索引」「集成」であることの制約を解消するためのデータベースの構築で あった。

3.1 「執筆者索引」の制作

全84,000ページ超、文字数換算(推定)1億6800万文字超に及ぶ「戦前期雑誌 記事索引」のデータベース化は、莫大な労力と経費を必要とし、一民間の出版社 で行うには過大な負担と言える。

現に、戦後の索引作成とデータベース化は、国立国会図書館において国家事業 として行われている。

しかし、「戦前期雑誌記事索引」を世に送り出したということは、研究者からの「戦前期雑誌記事索引」が出たが故の「次の要求」にも応えていく責務を負うことにもなった。

皓星社は、「戦前期雑誌記事索引」すべてのデータベース化を図るまえに、先行 企画として、平均700ページ、全120巻におよぶ冊子体としての「戦前期雑誌記事 索引」の検索補助ツールである「執筆者索引」の制作を決定した。

3.1.1 執筆者索引の入力項目と入力仕様

入力文字数を抑えるため入力項目は、

- ・執筆者名
- ・戦前期雑誌記事索引の「巻」「ページ」
- のみに限定した。

しかし、結果としては、総入力文字数は、2500万文字を超えた。

入力仕様は、

・近い将来のデータベース化、パソコン端末での検索利用を想定してJIS第二水

準の範囲

・旧字は、新字に置き換えて入力。

とした。

3.1.2 執筆者索引の編集と課題

- 2年の歳月をかけ、2500万文字超の入力と校正を終え次のような編集に入った。
- ・執筆者名から「編」「著」「生」「女史」などを削除した。
- ・そのうえで、執筆者名の名寄せを行った。名寄せの結果、執筆者名は最終的に 30 万名強に集約された。
- *同姓同名の区別はつけられなかった。
- ・30万名強の人名(一部団体名)を画数順に配列した。
- *執筆者名のヨミを姓名テーブルなどでつけて 50 音順に配列しようとも試みたがその時点ではヨミをつけることは不可能であった。

(執筆者索引画数順)

744 4 画

44一右244、45一右83、48—149、	水野すみ子 ・・・・・・・25一左81
48-339	水野伊太郎 · · · · · · · 12-623、12-66
水木俊吉21-288	14-324, 14-422, 15-82, 16-375
水木一郎 · · · · · · · · · 56一左504、	16-377、25-左232、30-右309、
57一右236	35-右181、39-右176、39-左344、
水木栄一66一右54	44一右156、44一右337、45一右18、
水木京太63-256	45-右164、45-右294、46-30、
水木公也43-右53、	-
43-右133	54一左167、55一左11、55一左132、
水木守三 ·······53-右27、	55-左415、56-右163、56-左206、
53-左13、53-左58、57-右74、	59-右265、59-右290、62-103、
57一左203	62-195、62-198
水木淳一 · · · · · · · · 31-158、31-160	水野惟之16—215
水木真弓64—右18	水野一郎2-226、
水木惣一郎 ・・・・・・・・41-右264	26-右266、57-右251、57-右252、
	58-384、58-385、59-左213、
水木惣太郎43-右307、	60—789
43-右460、43-右473、44-右91、	水野佳五郎 · · · · · · · · 36—右364
44-右142、44-右148、44-右210、	水野嘉蔵42-右256
44-右308、44-右323、44-右338、	水野夏一 ······5-307、31-479。
45一右70、45一右75、45一右170、	31-480
45-右215、50-797、50-845、	水野賀成14-454
50-846、56-右29、56-右35、	水野馨35一右290
56-右43、56-右171、59-右6、	水野義久66一右61
59-右9、59-右33、59-右36、	水野義雄32—161
59-右80、59-右97、59-右210、	水野菊一45—右186、
59-右307、59-右317、63-360、	49—107、56—右176、56—右273、
63-368、64-右170、64-右178	56一左346
水木棟平25一右350、	水野恭介43-右133
25-右356、25-右368、25-右404、	水野金市56一左96
26-右56、26-右65、26-右375	水野駒雄63-11
水木洋子64一左175	水野薫19—255、
水也道人3—150	30一右278、52一左81、52一左220、
水野4—456、6—477、	52一左431、53一左279、56一右150、
11-548, 11-687, 11-803,	56一左239、61一右99、61一左64
11-809, 12-80, 12-105, 12-154,	水野桂三59一左191
12-208、12-213、12-230、	本野健 · · · · · · · · · · 3 1−180
12-237, 12-337, 12-360,	水野幸吉 · · · · · · · · · 4−295
12-375、12-419、12-423、	(水野広徳 ・・)・・・・・・・6−384、6−392、
12-456、12-458、12-459、	6-412, 6-420, 6-461, 6-470,
12-473、12-477、12-500、	6-476, 6-478, 6-484, 6-487,
12-509、12-532、12-583、	6-520, 7-97, 7-302, 7-556,
12-808、12-858、25-右43、	8-23, 8-423, 8-519, 9-96,
25一右46、25一左223、31-314、	9-97, 9-129, 13-262, 13-597,
66一右261	15-86、15-135、16-326、16-327、
水野(在リパプール書記)	16-340、16-354、16-389、
51一左203	16-397、16-400、16-401、

画数のみからの検索が困難な利用者用に、執筆者名の頭文字のすべてを抜き出し姓名テーブル等を参照して、可能性のあるすべてのヨミをつけ 50 音順に配列し「音訓索引」とした。

(音訓索引)

	1	個人名 31
升 ·····69	萬177	光 · · · · · · · 95
舛100		潢176
増188	3	密 · · · · · · · 165
桝165	監191	翠188
枡131	観200	碧189
股122	. 見106	緑189
亦103	御171	皆132
俣141	<u> Ξ · · · · · · · · 52</u>	南140
又49	実124	咸142
斑175	深162	湊176
班154	神137	陽177
待139	<u> </u>	源180
町113	水69	峰155
松125	美141	峯155
末87	味130	嶺199
的127	未 · · · · · · · · 88	岑115
繆199	巳 · · · · · · · · 63	養183
眞155	箕189	簑197
爼142	弥130	簑199
侭130	巫115	耳98
豆114	帝140	雅179
眉141	幹179	宫144
繭201	右74	都164
黛196	汀83	幸122
鞠197	敕166	妙115
円65	瑞181	名103
丸50	癸142	明130
希106	溝180	₱ ·····142
鰻203	径122	茗142
幡193	通153	民88
万63	道175	眠155
満176	路 · · · · · · 183	閱177
漫189	廸131	
曼166	迪131	

・また、執筆者画数順索引へ即座に辿り着けるよう、30万名強の執筆者の姓をすべて抜き出し名寄せして画数順に並べ「姓索引」とした。

70	4 画

•
太宰749
太城749
太秦749
太西749
太田749
太田垣751
太田原758
太田尾756
太縄758
太平 · · · · · · · 758
丹 · · · · · · · · 759
丹羽759
丹下 · · · · · · · 760
丹後760
丹紫760
丹治
丹沢761
丹波761
丹木761
丹野 · · · · · · 761
中 · · · · · · · · 761
中安762
中井762
中院 · · · · · · 763
中越763
中園763
中岡764
中屋764
中下 · · · · · · · 764
中河764
中垣 · · · · · · · 764
中間764
中館 · · · · · · · · · 764
中丸764

こうした編集によって、執筆者索引は次のような構造となった。

- (1) 執筆者の頭文字1文字のヨミを配列した音訓索引(50音順)→「姓索引」 (画数順)「執筆者画数索引」(画数順)を指示。
- (2) 執筆者の姓を配列した姓索引 (画数順) → 「執筆者画数索引」(画数順) を指示。
- (3) 執筆者を画数順に配列した執筆者画数索引(画数順)

30万名強の「執筆者索引」は、7100ページ強の3次索引となった。

この執筆者索引は、「戦前期雑誌記事索引」=「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」社会科学編、人文科学編の別巻(全14冊)として、図書館、研究者に届けられた。

執筆者索引の制作出版によって、研究者は、少なくとも「執筆者検索」については、84,000ページ超の「戦前期雑誌記事索引」をすべてめくることなく目的の記事を探すことができることになったのである。

1996年4月に入力をスタートさせて1999年10月まで2年6ヵ月に及ぶ作業となった。

3.2 執筆者索引のWEBサイトへのアップロードとその効果、そして 制約

皓星社は、次に、冊子体として出版された「執筆者索引」のデジタルデータを 活用してデータベースとし電子的に提供することにした。

3. 2. 1 WEBサイトへのアップロード

皓星社のホームページにデータベースのページを設け、1999年2月、無償で公開した。

冊子体での「執筆者索引」の完成(1999年10月)から1999年2月までの約4ヵ月 という短期間で執筆者索引(30万名強)及び検索システムを皓星社のホームペー ジにアップロードすることができた。

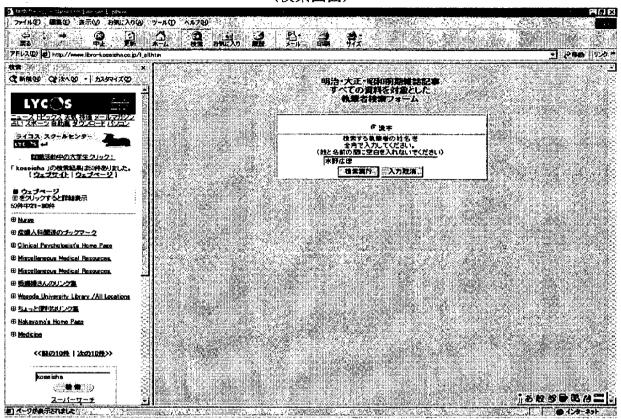
- 3.2.2 インターネットを通じた「執筆者索引」の検索とその効果
 - (1) インターネットを通じた執筆者索引の検索

検索の機能は、シンプルなものにとどめた。 その機能は以下の通りである。

・皓星社のホームページの執筆者索引データベースのページに執筆者名を入力させ、検索を実行すると、全文一致した執筆者索引が表示される。

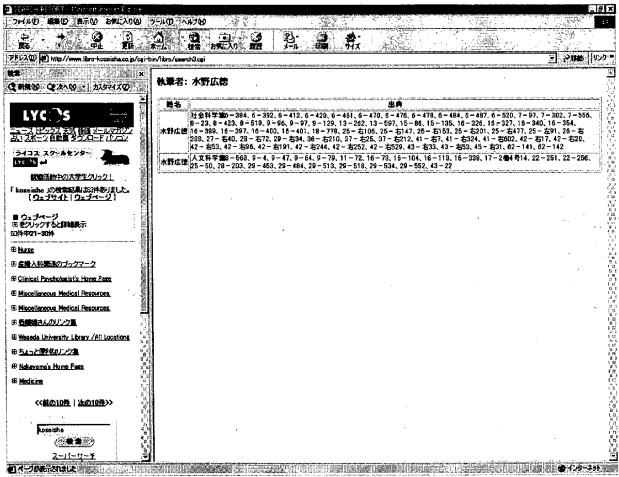
・皓星社のホームページの執筆者索引データベースのページに**執筆者名を**入力 し、検索を実行する。

(検索画面)



全文一致した執筆者索引が表示される。

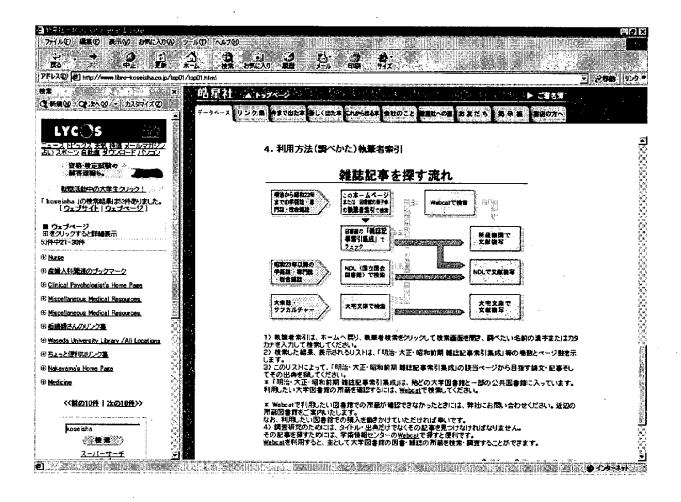
(執筆者索引画面)



そこで検索されたリストを元に、「戦前期雑誌記事索引」=「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」の該当する「巻」「ページ」を参照し目的の執筆者の論文名・掲載誌名・発行年月日・巻号など必要な情報を検索する。

さらに、目的の論文を掲載する雑誌の所蔵機関を調べるわけだが、これには文部省学術情報センターの編集になる「学術雑誌総合目録」がその目的のために刊行されている。

また、同じ内容が同センターのWWWサイト(Webcat)で一般公開されているから、これで所蔵機関を調べ閲覧を申し込むのが、現時点では一番効率的である。



(2) 執筆者索引データベースの利用状況とその反応

皓星社のホームページにアップロードされた「戦前期雑誌記事索引、執筆者索引データベース」は、とりたてて宣伝することなしに、研究者の口コミで伝播し、1999年2月のサービス開始後2000年1月末までの1年間で、1万回強のアクセスが確認されている。

また、東大・慶應大学・早稲田大学・明治学院大学をはじめ多くの図書館からリンクがはられ、学術研究のためのツールとして確実に活用されている。

利用者からは、執筆者索引の無償公開に対する次のような歓迎のメールが寄せられたが、これはほんの一例である。

4.5

進名 出 高格亀古 日本社会衛生年建 8 478、0 1991、10-144、10-221、10-223、11-128、 2、10-130、10-140、19-142、20-180、20-192 LL T大学経済学部のA先生から「すばらしいデ - タベースで助かります。現在、高橋亀吉の 調査をしていて見つかりました。」とのメールをいただきました。 周梅龟市 15学主就工業 01-03-018、01-10-143、01-11-013、04-12-028

3.2.3 執筆者索引検索の制約

インターネットを通じた執筆者索引を利用すればするほど、研究者・利用者の要求はさらに高度化し、「戦前期雑誌記事索引」への新たなレベルの要求が寄せられるようになってきた。

・既述したように執筆者索引は、コストと労力、時間を抑えるために [姓名] と「戦前期雑誌記事索引」の [巻] [ページ] のみを入力しており、「戦前期雑誌記事索引」の検索補助ツールに機能が限定されている。

つまり、執筆者名で検索して得られるのは、「戦前期雑誌記事索引」の [巻] [ページ] のみである。

*執筆者索引画面を参照。

「戦前期雑誌記事索引」が閲覧利用できる環境になければ検索結果は宝の持ち腐れでしかないということである。

- ・記事・論文の [タイトル] [出典] [出典発行年] [出典発行元] など、「戦前期 雑誌記事索引」に収録されている情報が、データベース化されておらず、それ らの項目で検索閲覧することができない。
- ・さらに「戦前期雑誌記事索引」は、まさに雑誌記事であるがゆえに、特に [人名] [地名] [団体名] [事件名] に「省略」「異称」が頻出し、検索文字列からの完全一致検索では検索洩れが避けられない。
- *このことは、執筆者索引での経験からもあきらかであった。
- ・そして、「戦前期雑誌記事索引」が集成であるがゆえの記事・論文の重複を整理 できてはいない。
- *目的とする執筆者名で検索し、仮に、50 件の該当出現箇所があったとしても、 それを「戦前期雑誌記事索引」で調べてみたら、そのうちの何%かは重複記事・ 論文であったということもありうるのである。

このことは致命的とは言えないが、研究者にとって時間と労力の観点から「ないにこしたことはない」ことである。

4. 「戦前雑誌記事索引」全体のデータベース構築

「戦前期雑誌記事索引」(冊子体)の制作、「執筆者索引」(冊子体)、「WEB上での執筆者索引データベース検索システム」の成果を踏まえ、研究者・利用者の要望に応えその検索閲覧の制約を解除するために、財団法人データベース振興センターの協力を得て「戦前期雑誌記事索引」収録項目全体のデータベース構築に着手することとなった。

4.1 「戦前期雑誌記事索引」全項目のデータベース化の意義

今回、戦前期雑誌記事索引に掲載されている索引構成要素全項目のデータベース化によって、研究者利用者には次のような可能性が提供される。

- ・記事・論文の [タイトル] [執筆者] [出典] [出典発行年] [出典発行元] など、「戦前期雑誌記事索引」に収録されている情報がすべてデータベース化され、すべての項目で検索閲覧することができるようになる。
- ・また、検索結果は、「戦前期雑誌記事索引」の [巻] [ページ] だけではなく、 直接、その記事・論文が掲載されている [出典] [出典発行年] [出典発行元] 等を表示してくれる。
 - *「戦前期雑誌記事索引」が閲覧利用できる環境になくても使用できる。 したがって、このデータベース自体が、冊子体としての「戦前期雑誌記事索引」 の補助ツールとしてではなく、独立したツールに成長するのである。
- ・そして、「戦前期雑誌記事索引」が集成であるがゆえの記事・論文の重複を [タイトル] [執筆者] [出典] [出典発行年] [出典発行元] などの名寄せによって整理し重複を解消することができる。

重複の解消後には、目的とする言葉での検索をし、仮に、50 件の該当出現箇所があったとしたら、それはすべてユニークな記事・論文ということになる。 研究者にとっては時間と労力の観点から歓迎するところであろう。

4.2 「戦前期雑誌記事索引集成」データベースの開発体制

1999年7月12日第1回作業部会を開催し、戦前期雑誌記事索引データベースの開発体制を決定した。

(A)編集委員会

人物文献研究所 森睦彦

関東学園大学松平記念図書館 阿津坂林太郎

東海大学課程資格教育センター 大久保久雄

株式会社皓星社

株式会社エニウェイ

(B) データベース研究部会

立命館大学政策科学部 (学部長 石見利勝)

株式会社皓星社

株式会社エニウェイ

(C) 作業部会

株式会社皓星社

株式会社エニウェイ

このうち、立命館大学政策科学部とは、本プロジェクトに先立って1999年1月1日より「研究交流に関する覚書」を交わしており、これを研究部会と位置づけ、その他の部会とあわせ1999年8月末までに、各部会が正式に発足した。

1999年8月6日第1回編集委員会を開催し、各部会での検討課題・実施課題とスケジュールを決定した。

4. 3 戦前期雑誌記事索引データベース開発の課題と歩み

4. 3. 1 戦前期雑誌記事索引データベース開発の課題

冊子体としての「戦前期雑誌記事索引」、同じく冊子体としての「執筆者索引」、 WEB上での検索を可能とした「執筆者索引データベース」の制約を総括し、戦前期 雑誌記事索引データベース開発の課題を次の諸点として設定した。

- ・その資料の膨大さからくる対象資料の絞り込み
- ・様々な索引の集成であるための入力方法の工夫
- ・戦前資料であるための旧字などへの対処と入力方法の決定
- ・集成であるための重複の解消手段の工夫
- ・雑誌記事であるために、特に [人名] [地名] [団体名] [事件名] に「省略」 「異称」「誤植」が頻出することへの検索時の工夫

4. 3. 2 戦前期雑誌記事索引データベース開発の歩み

その後の委員会等の歩みは次のとおりである。

- ・7月12日 第1回作業部会(キックオフ)
- ・8月6日 第1回編集委員会(データベース構築の課題の確認)
- ・9月1日 作業部会と国立国会図書館との打ち合せ(入力フォーマット について)
- ・ 9 月 8 日 作業部会と国立国会図書館との打ち合せ
- ・9月10日 第2回作業部会(前処理テスト、入力テスト仕様検討)
- ・9月13日 前処理テスト開始
- ・9月16日 作業部会と慶応大学上田先生との打ち合せ

- ・9月20日 入力テスト開始
- ・9月27日 テスト入力ファイル入手開始
- ・10月1日 第3回作業部会(第1四半期報告書について、テスト入力の 評価について)
- ・10月1日 作業部会と東洋大学戸田先生との打ち合せ
- ・10月29日 前処理テスト終了
- ・11月1日 第2回編集委員会(前処理及び入力テストの結果を踏まえ、 入力対象、入力ルールの検討)
- ・11月1日 データベース検索機能の検討のため、テスト入力結果を立命 館大学政策科学部へ送付(第1回データベース研究部会)
- ・11月12日 第3回編集委員会(入力対象及びルールの決定)
- ・11月15日 前処理及び入力開始
- ・1月6日 第4回作業部会(第2四半期報告書について)
- ・2月2日 第2回データベース研究部会において機能の決定、プログラ ミング開始
- ・2月14日 第5回作業部会(進捗のチェックについて、作業報告書について)
- · 3月7日 第6回作業部会(検索機能確認)

4.3.3 調査・研究・作業の中で確認できた本プロジェクトの意義

9月以降、本プロジェクトへの助言を求めて幾度か国立国会図書館を訪問した。

国立国会図書館は「現物をあたって以外、索引を作らない」という。

カレントな索引を作るものの姿勢としては正しいが、100年から50年以前の時期を対象にしたデータベースを作成しようとしたとき、その方法では現

実的には不可能である。

その理由は、

- (1) 作業量が膨大に過ぎ、完成の見込みが立たない。それは同時に経費が膨大であることを意味する。
- (2) 対象とする雑誌が一機関ではそろわない。資料の収集から作業をはじめなければならない。(1) においてすら、作業量、経費の膨大さを見たが、さらにその前段階の資料収集作業において、現物にあたっての索引作成は事実上不可能である。

したがって、国立国会図書館の方法を待っては、われわれは戦前期の雑誌記事索引データベースを持つことは期待できない。

国立国会図書館の方法が、文献目録作成の「王道」であるとしても、たとえ 欠点のあるものではあっても、存在しないよりもあったほうがはるかによいと いう現実的選択として、今回の雑誌記事索引集成データベース化は意味を持つ。

また、現在、さまざまな分野で雑誌記事・論文等のデータベース化が試みられているが、その関心はもっぱらカレントの索引の速報性や自動生成などに限られ、(もちろんそれらの意義は大きいが) 遡及データの利用という面にまで関心が行かない。

この現状も、国立国会図書館とは別な意味で、過去の情報のデータベース化を期待できない。

しかし、前述のように当該時期の記事索引への学界等の期待は大きい。 したがって、現状ではわれわれが、データベース化を進めなければ、他にお いて制作されるのを待つことは到底期待できないのである。

こうした点で、調査・研究・作業の進展とともに、われわれのデータベース 構築の意義を再認識できたことは有意義であった。

4. 4 対象資料の絞り込み

戦前期雑誌記事索引集成は、明治初年から昭和23年までの、雑誌記事索引を徹底的に集大成したものであり、「社会科学篇」と「人文科学篇」に分類して編集したが、合せて全120巻、記事・論文数100万件超、執筆者数100万件超、執筆者の名寄せをして30万人超、84,000ページ超、文字数換算で推定1億6800万文字という膨大な資料である。

編集委員会および作業部会での検討の結果、限られた予算と時間を前提とした時に全てを入力することは不可能であり、「社会科学篇」の一部を入力し、これをもって「戦前期雑誌記事索引100万件の[第一期]データベース構築」とすることにした。

その認識のもと、対象資料の絞り込みの作業に入った。

この選択には、編集委員会が検討にあたったが、選択の基準として、

- (A) 極力重複のない雑誌記事索引を選ぶこと
- (B) 明治から昭和にかけて極力網羅できる雑誌記事索引を選ぶこと、

という基準を採用した。

他に、

(C) 雑誌記事索引(および掲載記事)の重要性によるという視点もだされたが、判定は困難であり最終的に資料としての重要性は研究者・利用者の側が判断する問題として退けられた。

また、

- (D) 時系列的に明治初期(あるいは逆に昭和23年)から順にという視点も出されたが、雑誌記事索引「集成」の性格からくる重複の必然性と第一期といえどもデータベースとしての長期を対象とした利用性を考慮し採用しなかった。
- (A)(B)を基準として編集委員会において「戦前期雑誌記事索引100万件 [第一期] データベース構築」の対象雑誌記事の選定に入ったが、その時「雑誌記事索引集成社会科学篇年表」は大いに参考になった。

以上のような検討を経て、神戸高等商業学校商業研究所の編集になる「経済法 律文献目録」および「国民経済雑誌」に連載された記事索引を中心として入力す ることとした。

情報量は、戦前期雑誌記事索引全体の10%未満ではあるが、これによって明治期から戦争によって中断する昭和19年までの法律・経済関連のデータを検索できることとなる。

4.5 様々な索引の集成であるための入力方法の工夫

「戦前期雑誌記事索引」は、戦前の雑誌記事索引の集成であるために、その制作方法も記述の仕方もまちまちであった。

しかし、「戦前期雑誌記事索引データベース」とするためには、項目を統一し誤りなく入力していく必要があった。

4.5.1 凡例の分析と入力項目の決定

集成された戦前の各種記事索引及びその凡例を分析し入力項目を次のように決定した。

- (1) タイトル・サブタイトル
- (2)執筆者姓
- (3)執筆者名
- (4) 出典名
- (5) 出典の巻・号・ページ(ないしは日付)
- (6)出典の出版年1
- (7)出典の出版年2
- (8) 雑誌記事索引名
- (9) 雑誌記事索引制作者名

4. 5. 2 対象資料へのマーカー付け

今回の、第1期データベース構築の対象資料は、神戸高等商業学校商業研究所の編集になる「経済法律文献目録」としたので掲載項目および記述の不統一は最小限に抑えられたが、長期にわたる索引の集積であるために途中で項目と記述の変更もあり、入力のオペレーターが効率的かつ正確に入力できるよう資料への各入力項目毎に色分けしマーカー付けを行った。

4.6 戦前資料であるための旧字などへの対処と入力方法の決定

対象資料は戦前資料なので、旧字が頻出し、また「かすれ」「つぶれ」による判 読不能文字も少なくない。

しかし、データベース化及びパソコン端末での検索閲覧のため、次の仕様のも とに入力することにした。

- (1) 文字はすべてシフトJISで入力する。Windowsの拡張文字(シフトJISコードFA40~FC4B)は使用する。
- (2) 旧字は、置き換えられるものは新字に置き換え、置き換えられない旧字 はJIS内にある文字でそのまま入力する。
- (3) どうしてもJIS内にない文字は、■を入力する。
- (4)「かすれ」「つぶれ」などで読めない文字は、□を入力する。

4.7 集成であるための重複の解消手段の工夫

「戦前雑誌記事索引」=「明治・大正・昭和前期雑誌記事索引集成」は「集成」であるために、同時期の各種索引に収録されている記事・論文が少なからず重複していると考えられる。

この重複を解消するために次の作業を行うことにした。

- (1)入力した記事・論文毎に、入力項目の「タイトル・サブタイトル」で名 寄せし、リスト出力する。
- (2) 出力するリストには、判断材料として
- 執筆者姓・執筆者名
- ・出典名
- ・出典の巻・号・ページ(ないしは日付)

を印字する。

(3) リストで判断し、同一記事・論文と思われるものは削除する。

このような作業によって、重複のないデータベースを目指した。

1.5

但し、同一の記事・論文であるか不明のものも多く、危険性を避けそれらは削除しなかった。

4.8 雑誌記事であるために、特に[人名][地名][団体名][事件名] に「省略」「異称」が頻出することへの検索時の工夫

現代においても、雑誌記事には表現手法としての「省略」「異称」が頻繁に使用されている。

戦前においては、特に[人名] [地名] について漢字での様々な表現を含めて「省略」「異称」が頻出している。

目的とする「文字列」の全文一致検索で完全一致したものしか検索閲覧できないのでは、特に[人名][地名]について漢字での様々な表現を含めて「省略」「異称」の表現が検索できず不便きわまりない。

戦前期雑誌記事のこうした特殊性を十分に考慮して、将来のシソーラス構築に つながる「ユーザー辞書」登録機能およびユーザー辞書構築を支援する複合検索 機能をデータベースの要求仕様の中に盛り込むこととした。

5. 「戦前雑誌記事索引」データベースシステム

5.1 開発

立命館大学政策科学部(学部長・石見利勝)の指導と協力を得て、「戦前雑誌記事索引」データベースシステムの開発に取り組んだ。

実際のプログラミングは株式会社エニウェイが担当した。

要求仕様は、

- (1) データベース各項目および全項目を対象とした「部分一致検索」機能
- (2) 執筆者に関しては、「完全一致検索」機能
- (3)検索項目は3項目、「AND」「OR」の選択機能
- (4) 検索結果リスト表示のソート選択機能
- (5) 将来のシソーラス (類語辞典) の構築を展望したユーザー辞書機能
- (6) データベース (データ及びシステム) の格納媒体はCD-R とした。

これらは、4.8で確認した「雑誌記事としての特殊性」「集成であることの特殊性」「戦前資料であることの特殊性」を考慮して定めたものである。

5. 2 データベースの検索等機能

5. 2. 1 検索画面

- ・検索の項目は、
 - 1) タイトル・サブタイトル
 - 2)執筆者名
 - 3) 出典名
 - 4) 記事の掲載出版年

の4種類の項目とした。 それぞれの項目相互は、AND検索の関係とした。

- ・条件検索は、
 - 1) タイトル・サブタイトル
 - 2) 執筆者名

の項目に関して、3つの言葉(表現)でそれぞれ「AND」「OR」検索できるよったした。

- ・検索結果リスト表示のソートを検索画面で指定できるようにした。
- ・ユーザー辞書登録の機能を付加し、検索画面からユーザー辞書登録画面を開き登録することができるようにした。
 - *ユーザー辞書登録に関しては、次項で詳しく説明する。

検索機能、ソート機能、ユーザー辞書登録機能の画面を次のように設計した。

**************************************	A Management of the Secret of the Secretary and	an and conduction of the desired substitution and the state of the substitution and a conduction of the substitution and the substituti	AMARON SANTE STATE OF THE STATE
initiality Alliana			
タイトル・サブタイ	トル AND T	S. Appropriate of the second letter the second l	
二十世辞書	AND 🗹		
執筆者名			
厂全文-数	AND ™		
ユーザ辞書	AND ▼		
出典名			
出版年	明治・	/学 明治家	
ソートキー	ር ቃብ ነው	プタイトル	
	の 執筆者名		
	○ 出典名○ 出版年		
	検索		
		キャンセル	

図 5 - 1

5. 2. 2 タイトル・サブタイトルによる検索

仮に、タイトル・サブタイトルに「漁業」と「水産」のいずれかの言葉を含ん だ記事を検索してみる。

テキストボックス1に「漁業」、テキストボックス2に「水産」という文字をタイプ し、「OR」検索を選択して「検索」を実行する。

この場合は、部分一致の検索となる。

検索 リーリア (1) (1) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		
タイトル・サブタイトル ユーザ辞書	漁業 OR I 水産 AND I	
執筆者名 「全文一致・ ユーザ辞書・	AND S	
出典名出版年	明治之。明治之	
	⑤ タ作ル・サブタ仆ル○ 執筆者名○ 出典名○ 出版年	
t t	本・ジセル	

図5-2

検索結果リスト表示画面は、次のとおりである。

タイトル・サブタイトル	執筆者名	出典名	出典の登、号、頁	出版年1	出版年2	
アラスカの漁業問題	越田徳次郎	水產界	425	大正07	1 - N. N. S. S. S. S. S. S. S. S. S. S. S. S. S.	ŀ
アラス力の漁業問題	越田徳次郎	水産界	427	大正07	†	ľ
「セレベス島ミナハサ地方に於ける水産業に就て	加速方針治	内外商工時報	6/10, 12	大正08	†	1.
ペーリング海に於ける水産業に就て	鎌田武造	内外商工時報	7 <i>7</i> 3	大正09	 	١,
沿岸漁業は磨れるか	岸上議吉	水產界	484	大正12		P
遠半漁業と食糧問題 ・遠洋漁業の提覧	M 田泰洋	市町村雑誌	346	大正11		1
	神戸正雄	時事經濟問題	34	大正14	1	
遠洋漁業級勵法の解説	川久保修吉	水產界	438	大正08	1	1
遠洋漁業發達の種過と其の現況	山橋宗次	水產界	399,400		大正05	12
別学院の漁業	山内脈	水產界	401-3	大正05	1	ľ
我が水産業の現状と将来	伊谷以知二郎	門故(種) 香時朝	5/10	大正07	1	b
表水産輸出の対理	伊谷以知二郎	内外商工時報	4/4	大正06		19
我国汽船トロール漁業の沿革及概況	田村啓三 鶴見左吉雄	海事新報	2/3	大正14	Ī	T.
我国水産業の促進	鶴見左吉雄	日本經濟新誌	21/7	大正06		K
海上に於ける水産貿易	相辜數	朝鮮經濟難註	90	大正12		
経漁業の南遷に就て	宮上教術	臺灣時報	40	大正11		Tie
権太水産行政の革新を切望す	葛城忠雄	水產界	439	大正08		P
都際加の漁業に収て	全澤卯太郎	拓射文化	7	大正13	Ī	W.
干拓獎聯と水產業	基件三郎	福岡日日新聞	2-26-3-13	大正10		10
	菱湖生水產界	399,400	T04	大正05		ľ
漁業組合の施設事業に適する緊頓	太田康治	市町村韓は	354	大正12		ŀ
漁業組合共同施設論	石川久治	水產界	477	大正11		ľ
漁業統計に騙する革新収	石川久治	水產界	487	大正12		
※漁船を利用せしめて途洋漁業を疑難したる焼津生産組合の		産業組合	173	大正09		ľ
福東韓領に於ける邦人の漁業	牛島實	東海納	260	大正09		75
□ 浸洲の水産物貿易	大概清三	東洋中報	250	大正08		ļ
再び温菜組合共同施設を論ず	石川久活	水產界	482,483	大正11		ŀ
最近英國の水産界	吉田市右衛門	水産界	450	大正09	1	Ī
最近英國の水産業	吉田市右衛門	内外商工時報	7./5	大正09]
。薩哈雙洲水產一班	三沙潭福定	水産界	479	大正11	T	

図5-3

リストは、タイトル・サブタイトルの文字コード(JISコード)順にソートされている。

検索結果リストをどのようにソートし閲覧分析するかは研究者の「発想」であることに鑑み、ソートキーはシステム側からの押しつけではなく研究者が自由に 「選択」できるようにした。

具体的には「タイトル・サブタイトル」「執筆者名」「出典名」の文字コード、「記事掲載出版年の昇べき」の4種のソートを選択できるようにした。

5. 2. 3 ユーザー辞書登録

ある言葉による検索の結果リストを見て、「ある言葉」と「ある言葉」の連関に 気づくことは多い。

「検索結果リスト表示画面」から「ユーザー辞書登録画面」を開き登録できるようにした。

「検索結果リスト表示画面」の「ユーザ辞書」ボタンをクリックする。「ユーザー辞書登録画面」が表示される。

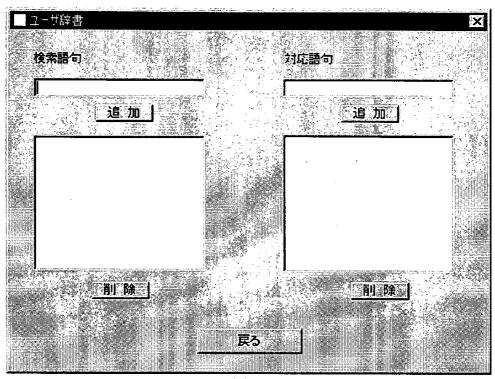


図5-4

「ユーザー辞書登録画面」の「検索語句」のテキストボックスに、例えば「漁業」とタイプする。

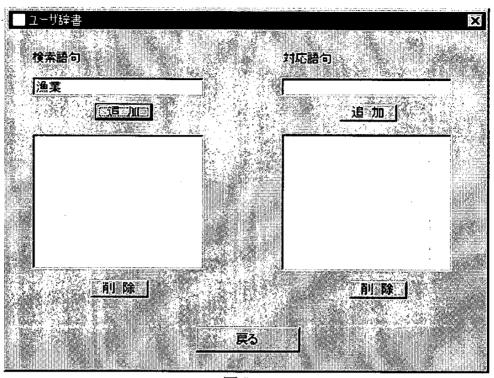


図5-5

「追加」ボタンをクリックすると「漁業」という言葉が、ユーザー辞書の「検索語句=親」の言葉として登録される。

「漁業」という言葉が、左の窓(検索語句=親)と右の窓(対応語句=子)に登録されたのが次の画面である。

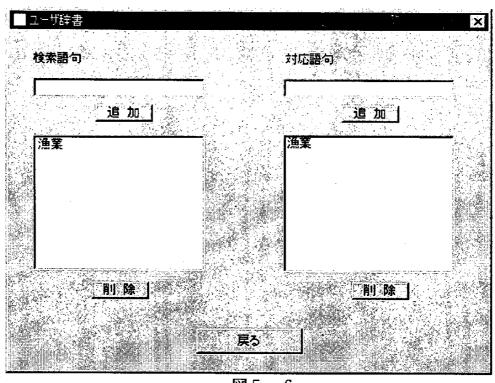


図5-6

次に「漁業」という言葉で検索する時に、併せて類似語である「水産」という 言葉でも検索するためには、対応語句のテキストボックスに「水産」という言葉 をタイプする。

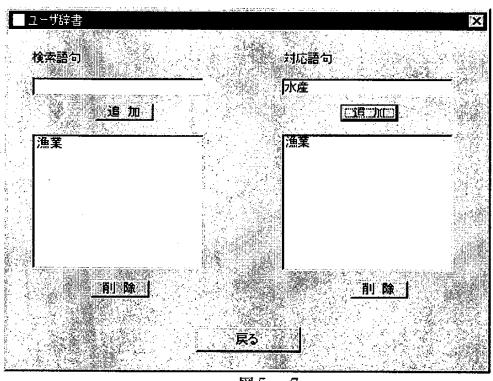


図5-7

「追加」ボタンをクリックすると「水産」という言葉が、ユーザー辞書の「対応語句=子」の言葉として追加登録される。

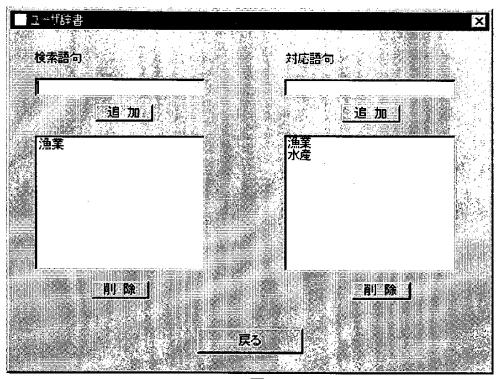


図5-8

このようにしてユーザー辞書を豊かにしていく。

例えば、この事例では、漁業=漁業、水産という辞書によって、検索画面で「漁業 (検索語句=親)」という言葉をタイプして検索を実行するだけで(「水産」という言葉のOR検索なしで)、「漁業」あるいは「水産」という言葉を含む記事がリスト表示されるようになる。

5. 2. 4 ユーザー辞書の対応語句=子の選択機能

ユーザー辞書は研究者にとって便利な機能であるが、問題がないわけでもない。

1つの検索語句=親に対して素材を広く求めるという意味では、対応語句=子は、親子の関係が正確ではなくても、一時的な調査のためであっても、より多く登録するものである。

しかし、一方で、ある言葉の厳密な意味での雑誌記事における出現を調査する ためには、不正確で一時的な対応語句=子を不可避に検索してしまうのでは、検 索結果の選択・分析に手間取ってしまうことになる。

ユーザー辞書の対応語句=子の選択機能を付加した。

検索画面で、「ユーザー辞書」ボタンをクリックすると「ユーザー辞書登録」画面が表示され、すでに登録済みの対応語句=子が表示される。

検索を望む「対応語句=子」のフラグをクリックして検索対象とすることができる。

例えば、「アインシュタイン」という言葉を検索語句=親とした場合、 対応語句として「アインシュタイン」「アインスタイン」が登録されている。

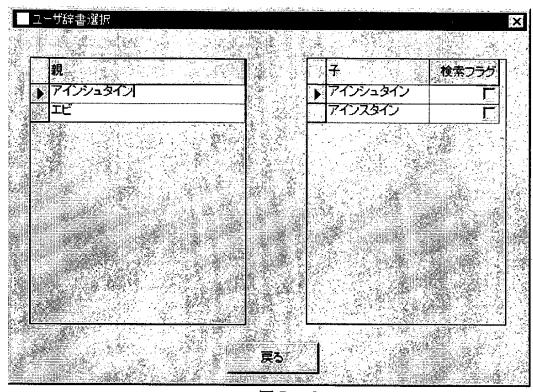


図5-9

「アインシュタイン」という言葉のみで検索したい時には、対応語句=子側に表示されている「アインシュタイン」という言葉の右のチェックボックスをクリックして検索フラグをたてる。

こうすることによって、ユーザー辞書には「アインシュタイン」「アインスタイン」という言葉が登録されているが、そのうち当該検索では「アインシュタイン」という言葉だけでの検索が可能となる。

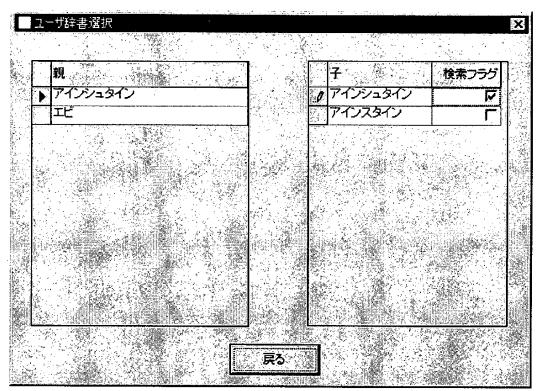


図5-10

なお、ユーザー辞書の機能は、「タイトル・サブタイトル」及び「執筆者名」での検索に使用できるが、「執筆者名」での使用手順とロジックは既述した「タイトル・サブタイトル」の場合と同様である。

75

5. 2. 5 執筆者名による検索

仮に「水野」という姓で検索してみる。 執筆者名のテキストボックスに「水野」とタイプし、「検索」を実行する。

この場合は、部分一致の検索となる。

■ 検索 で変数では、個数の個 場合なり、は			×
タイトル・サブタイトル <u>ローザ辞書</u>	AND S		
執筆者名 「厂全文一致	水野 AND		
出典名	AND		
出版年、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・明治 』 のタイトル・サラ	~ 明治 <u>・</u> 対化ル	
	執筆者名公 出典名公 出版年		
	0 x	キャンセル	

図5-11

検索結果リスト表示画面は、次のとおりである。

タイドル・サブタイトル	軌筆者名	出典名	出典の巻、号、頁	出版 年1 出版年2
科學及工業	水野敏之丞	大陽	25/10	大正OB
我征事情	水野範之助	産業時報	3/8	大正12
派债基金還元問題	水野鎌太郎	財政經濟時報	321	大正05
社會教化事業に就て	水野猿太郎	朝鮮及滿洲	77	大正10
小賣市場と購買組合	水野鎮太郎	新時代	2/11	大正07
新古米の鑑定に就て	水野勉	大日本農會報	518	大正13
電信暗號の編纂方法	水野淳二	銀行研究	2/4	大正11
都市の財政を論ず	水野鎌太郎	日本法政新誌	15/6, 7	大正07
都市改良問題	水野鎮太郎	大阪市商工時報	19	大正08
都市問題に就て	水野鎮太郎	法律新聞	1550, 51	大正08
悲観が楽観かブラジル移民将来	水野龍	太陽	30./7	大正13
文化政策	水野和一	社會事業研究所認		大正11
紡績罷業と其の解決方法	水野梅觀	支那時報	2/6	大正14
有望なる忽市の栽培 來るべき奴隷制度	水野勉	大日本農會報 公民議座	467	大正09
來るべき奴隷制度	水野和一		12	大正14
國産與斯と産業獨立	水野積太郎	國產時報	2/7	大正06
ソートキー G タイトル・サブタイトル C 製事者名 C 出典名 C 出版者	ユニザ辞書	ep 20		MUS

図5-12

リスト表示は、タイトル・サブタイトルの文字コード (JISコード) 順にソートされているが、「タイトル・サブタイトル」「執筆者名」「出典名」の文字コード、「記事掲載雑誌出版年の昇べき」の4種のソートを選択できることは既述したとおりである。

5.2.6 執筆者名による全文一致検索

検索画面での「タイトル・サブタイトル」「執筆者名」「出典名」での検索は、 すべて「部分一致検索」を前提としているが、執筆者名の検索においては部分一 致では都合の悪いこともある。

「戦前期雑誌記事索引」は最終的には、100万人を超える執筆者データを収容するようになる。

部分一致検索で執筆者を検索した場合、頭一文字がなくて外は同一文字列の執筆者はありうるのであり、ましてお尻一文字がなくて外は同一文字列の執筆者というのは(名前の後に漢数字や子という文字を付けて命名する場合の多さを考えると)数え切れないほど存在すると想定されるのである。

執筆者名検索に関してのみは「全文一致検索」の機能を加えることにした。

仮に、「水野錬太郎」という執筆者名で検索してみる。 執筆者名のテキストボックスに「水野錬太郎」とタイプし、「全文一致」のチェッ クボックスをクリックし「検索」を実行する。

タイル・サブタイル			
ユーザ辞書	AND		
	AND T		
執筆者名	水野錬太郎		
。 [[] 全文一数	AND 🗲		
ユーザ辞書(AND ▼		
		Andrew Street Street Street	
出典名		The second secon	
出版年	明治区	明治因	
・ソートキー ウ	の タイトル・サブタイト	ll .	
	○ 映筆者名		
	こ		
	广出版年		

図5-13

検索結果リスト表示画面は、次のとおりである。

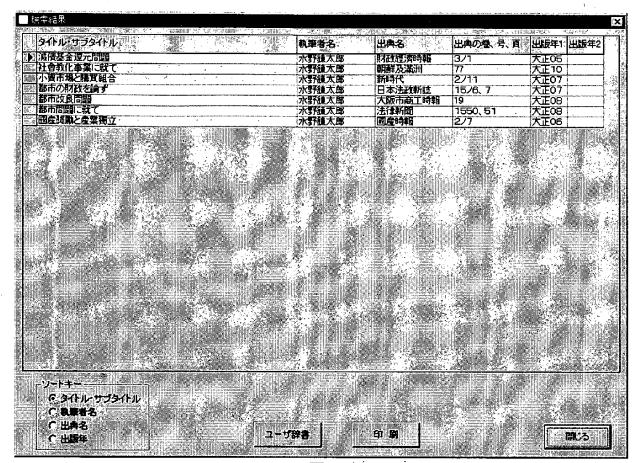


図5-14

5. 2. 7 出典名による検索と出版年の絞り込み

「出典名」による検索も、「タイトル・サブタイトル」「執筆者名」による検索 と同様である。

検索結果リストのソートキー選択機能、ユーザー辞書登録機能も同様にサポートされている。

出版年については、その情報独自に検索するというよりは、「タイトル・サブタイトル」「執筆者名」「出典名」での検索時の検索対象期間絞り込みの機能として考えるべきである。

「戦前期雑誌記事索引」の場合、同姓同名を識別する情報を得ることが困難なため、記事掲載雑誌の出版年を絞り込む機能は、貴重な判断材料を与えてくれるものである。

■ 枝素 タイトル・サブタイトル	×
3-5辞書	AND 7
教筆者名 □全文一致 ユーザ辞書	AND I
出版年	通商広報 明治 明治 明治 1
シード 手・	○ タイトル・サブタイトル○ 教筆者名○ 出典名

図5-15

6. 今後の課題

データベースの機能の改善のためにも、それ自体データベース構築の成果として、[人名] [地名] [団体名] [事件名] についてのシソーラスの制作・整備・拡張が求められる。

今回のデータベースに組み込んだユーザー辞書登録機能が、その基礎づくりに 貢献するであろう。

今回、財団法人データベース振興センターのご協力で、「戦前期第1期データベース」を構築したが、これは全体の約1割にすぎず、今後早急にすべてのデータベース化が行わなければならない。

先ずは本データベースの第2期以降の作業をへて、完全なものにすることが急務であるが、冊子体の「索引集成」から本プロジェクトに至る間、急速な技術の進歩、インフラの整備、さまざまなレベルでの電子図書館の構想など大きな環境の変化があった。

これらを踏まえて、データベースの今後の展望として雑誌記事検索・調査環境 の「夢」をあげておきたい。

(1) 索引集成と総目次類の統合

われわれが、制作しようとする雑誌記事索引集成のデータベース化は、データ 量延べ百万件、執筆者三十万人以上という膨大なものであるが、しかし、「水野著 作集」の項で述べたように、索引編纂の時点で取捨選択が加えられている。

しかも当然、当時の価値観で選択されているわけであるから、現在のわれわれ の評価と同じ軽重で選択されてはいない。

したがって必要なものがもれたり、その逆も起こりうる。

これを防ぐには、やはり最終的にはその雑誌の総目次を、それがない場合は現物を、あたることが必要となる。(これについては、そのことが決して雑誌記事索引集成の意義を損なうものではないことは前述した)

現在の索引集成の利用価値を高めるものとして、索引集成データベースにおいて、「総目次類」をも統合的に検索できれば、上記の問題を解決する一方法となるわけである。

そこで、今回の第1期において、たまたま弊社において別の機会に復刻しそれ にあわて作成しデジタルデータとして保存してあった「科学主義工業」の総目次 と、市政調査会及び労働科学研究所が独自に作成した「都市問題」「労働科学」の 総目次を、両機関のご好意で提供を受け、第1期分とあわせて検索できるよう、 (株) エニウェイにおいてソフトを作成した。

もとより、これは記事索引集成データベースが完成して、次の段階への実験であり、まだまだ検討の余地のあることである。

統合検索をするについては、

- A 記事索引データベースから、当該雑誌にかかわるデータを削除し総目次 データと入れ替える。
- B 記事索引データベースの当該雑誌のデータを表示しないようにし、総目次 データを表示する。
- C 統合検索はするが両方を別々に表示し、結果の検討は利用者に委ねる。

Aはデータベースそのものを統合するものであり、B、Cは雑誌記事索引集成と総目次各々は別なデータベースとして、検索と表示を統合的にしようというものである。

それぞれ一長一短があると思われるが、今回の実験版ではCの方法をとることとした。これはWeb版の執筆者索引と同じ形である。

但し、この件については、受託内容と必ずしも一致するものではないので、本報告ではふれず成果物に附録して添付することとした。

総目次に関しては、少なからず冊子体のものとしては作成されており、また雑誌の復刻においては、それに伴って作成されている。

したがって、次の段階として総目次をデータベースに取り込んでいくことは、 検索の密度を飛躍的に向上させることができよう。

また、復刻のあるものといまだ復刻されていないものの区別をつけることで利用者の便も図れる。

(2)復刻との統合

すべての索引と雑誌記事そのものとのリンクは事実上不可能(技術的には容易であっても経費の面で)であろうが、相当な復刻が現在行われているわけであるから、比較的作業が容易である復刻された資料だけでも画像としての電子化を行い、索引データベースとリンクすることができれば、その使い勝手は飛躍的に増すはずである。

復刻の電子化は国立国会図書館でも電子図書館の実証実験としてすすめられていると聞く。

前述のように国立国会図書館においては、戦前期の記事索引データベースは計画にあがっていないが、いくつかのプロジェクトを有機的にむすびつけることで、 実現の可能性があるのではなかろうか。

もとよりこれらの実現には著作権・版面権・出版権など複雑な権利関係をクリアする必要はあろうが、検討の余地のある課題である。

7. 参考資料

- 1) 宮地見記夫:明治期社会科学雑誌記事索引「図書館学界年報」 Sep. 1980
- 2) 宮地 幹夫:大正期経済学関係雑誌記事索引の比較研究「一橋論叢」86巻3号
- 3) 掘込 静香:明治・大正・昭和前期における雑誌記事索引小史―国文学・ 歴史学を対象とした索引を中心に「鶴見大学紀要」第34号(1997年3月)
- 4) 松井 幸子: 社会科学文献データベースの構造解析、丸善、1992年2月
- 5) 宮地見記夫:日本における社会科学系雑誌記事、草稿、1980年9月 本稿は重要であり未刊であるので、以下にその全容を記す。

凡例

- 1. この書誌には、わが国(旧植民地を含む)の明治期より昭和20年までの社会科学とその周辺領域の
- a. 雑誌、紀要などの刊行物に継承して掲げられた雑誌記事索引・抄録
- b. 記事索引および抄録の専門誌
- c. 少数の図書形態にまとめられた記事索引と抄録 を収録してある。
- 2. 第1部は記事索引・抄録を主題別、年代順に配列した。
- 3. 各アイテムの記入順序。
- a. 索引・抄録の名称
- b. 掲載刊行物の名称、掲載開始・官僚の巻号、年月
- c. 編纂者もしくは発行者の名称
- d. 解題
- e. 一覧表等により表示してある場合には、分類項目、収録対象誌名を掲げた。 ただしいずれも、年あるいは巻号によってかなり相違がある。

参考文献 (順不同)

天野敬太郎:本邦書誌ノ書誌 昭和18年

林 繁三:雑誌論文索引抄録所蔵刊行物調査 昭和18年

波多野:弥吉:研究調査参考文献總覧 昭和9年

伊南村徹元:索引の話 昭和52年

細谷;宮地:社会科学記事索引「学術月報」 昭和36年

木田橋喜代慎:「経済学文献季報」について(1)「経済資料研究」No. 8(1974)

青木 實:雑誌論文索引その他「書物展望」2(9) 昭和7年

- 第1部 主題別の部 通し番号の頭の○印は図書であることを示す。
- 1. 一般
- 【1】雑誌索引 下戸前繁松編・刊 発行所: 大正11年昭和4年 秋田、昭和4年-16年 東京
 - ○第1巻第1冊(大正11・12・25) -第10冊-()、169p
 第1巻 改訂増補版 第1-43回(あ~す)昭和7・7-同16・6 860p
 第2巻第1-24回 昭和3・12-同7・6 480p
 (参照:稲村、p. 57、58、110~114)
 - ○明治以降刊行の図書および主要雑誌記事。人文・社会・自然科学をカバー するが収録アイテム少なし。選択的
- 【2】雑誌重要記事目録 三菱合資会社資料課 大正14年 9冊
 - ○大正11年1月-同14年3月中に刊行された内外の雑誌より重要と思われる記事を収録 第7冊 R:農林、畜産、水産業
- 【3】雑誌記事索引「読書標」第1-44号(大15-昭5) 朝日新聞社(東京)調 査部編
- 【4】雑誌索引 大正15・9-昭2・8「ブックマン」3巻、9巻(大15)、「ブックレビュー」1巻1~5、8号(大15・10-昭2・8)
- 2. 社会科学一般
- 【5】法政経済社会論文総覧 [正]、追篇 天野敬太郎編 刀江書院 昭和2-3 2冊 ○わが国の明治以降、昭和2年までを対象とする。「参照宮地 (1)]
 - [6]経済法律文献目録 第[1]、2輯 神戸高等商業学校商業研究所編 大阪 寶文館 昭和2-6 2冊
 - ○第1輯:大正5-同14年、第2輯:大正15-昭和5年

○わが国において公表された経済、商業、社会、政治、外交、法律などに関する著書、冊子、報告書、統計書および重要新聞雑誌に掲げられた論文・ 資料を収録。[参照 宮地(2)]

2-1 地域一般

- 【7】外国雑誌重要記事索引(月刊)第1号(大10)-260号(昭17・9)全国経済 調査機関連合会
 - ○わが国の外国雑誌記事索引としては最も長い歴史を有する。英・独・仏文 が主。当初論題名は邦訳のみを掲げ、執筆者名も付していない。
 - ○分類項目:経済理論、経済事情、財政、金融、物価、企業及会計、保険、 商業及貿易、工業、土木建築、鉱業附燃料問題、農村・畜産及水産業附食 料問題、交通、移植民・人口・人種問題、都市問題、労働及社会問題、政 治及外交、法制、統計及年感、雑。

東亜一般

- 【8】東亜関係雑誌重要記事索引「東亜」1巻1号(昭3)-12巻7号(昭14) 東 亜経済調査局
 - ○8巻8号(昭10・8)まで"支那・満州国関係雑誌重要記事索引"と称した。 現名称は9巻1号(昭11・1)より。欧、邦、中国文を併記。
 - ○分類項目:地理区分と以下の主題が組み合わされる。経済理論、経済史、 経済事情及政策、農業、林業、畜産業、水産業、鉱業、工業、商業、交通、 金融、企業経営及会計、財政、政治、法律、地理及歴史、人口・食糧及移 植民、社会事業及政策、教育哲学及其他文化科学、雑(刊行によって変更 あり)。
- 【9】大平洋地域に関する主要雑誌記事目録(月報) 大平洋協会
 - ○分類項目: 地理句bんと以下の主題が組み合わせられる。自然、文化・宗教・ 社会、政治・法制、国際関係、植民問題、経済一般、貿易・商業、農林水 産業、其他。
- 【10】東亜関係文献目録「東亜研究」(月報) 東亜同文書院大学東亜研究部
 - ○邦文、中国文を収録
 - ○分類項目:総記、歴史、地理、政治・外交・軍事、国際、法律・司法・行政、社会、宗教、思想・文化・教育、民族・人口・移民、経済一般、財政、 経済政策及経済建設。
- 【11】大東亜戦争関係雑誌記事索引「読書人」(月報) 東京堂

- ○1巻1号-28巻11号(大3-昭6・11):東京堂月報 1巻1号-4巻4号(昭16・12-同19・4):読書人
- ○分類項目:論説、哲学・思想・宗教、教育・修養、内外政情、国際外交、 軍事・国防、財政・経済、産業・交通、社会・文化・科学・芸術・厚生、 歴史・地理、人物評論、現地報告、従軍記、婦人・家庭、画報、文学・国 文学、文芸作品。

ソヴェト聯邦

- 【12】経済調査会新着露文雑誌重要記事索引「ソヴェート連邦事情」1巻1号(昭 5) - 南満州鉄道株式会社経済調査会
 - ○ソヴェト関係の記事は邦文図書・雑誌論文も収録
 - ○分類項目:地理・歴史、文化、経済一般、農・林・畜産・水産業、鉱業・工業、商業、交通・通信、財政、貨幣・金融、植民・移民、社会・労働、法制、政治・外交・軍事、共産党・第三インターナショナル、反ソヴェート政権運動・露国エミグラント

中華民国

- 【13】主要中国雑誌新聞記事索引「支那研究」14号(昭2)- 亜同文書院支 那研究部
 - ○分類項目:経済学・経済学史、経済史及経済事情、経済政策、産業、牧畜・林業・水産業・鉱業、農業・農業政策、工業・工業政策、投資・外国為替、市場・取引所・投機、交通・運輸、倉庫・保険、企業及経営、財政及財政学、会計及会計学、統計及統計学、政治及行政、外交・国際事情及国際法、法制及法制史、民事及刑事法、商事及商事法、社会学・社会史・社会事情、社会運動及社会政策、社会科学一般、教育・文学・語学、人口・移植民及人種問題、保険、支那学、都市、南洋事情、雑
- 【14】南支那及南洋関係重要記事索引「南支那及南洋情報」1年2号(昭6・11)、 2年1号(通し5号)以後隔号 台湾総督府官房調査課
 - ○文献は地域別(中華民国、比律賓、仏領印度支那、シャム、英領印度、印度・緬甸、南洋一般他)に区分
 - ○収録対象誌 [昭和7年分]×印は華文。欧文誌は省略
- 【15】支那南洋其他海外重要記事索引「臺湾時報」35号(大正11)— 臺湾総督 府官房調査課

- 【16】雑誌重要記事索引「満鉄図書館報」1巻1-3号(大10)
- 【17】内外雑誌記事件名索引1-8 大連図書館 大正12-13
- 【18】雑誌図書重要記事索引「満鉄調査月報」3巻5号(大12)— 南満州鉄道調査部資料課
 - 〇この索引は「月報」16巻5号(昭11・5)以降は雑誌論文記事については掲載を廃し、以後「満鉄資料彙報」に収録
 - ○分類項目:地理・歴史、文化、経済一般、農林畜水産業、鉱業、工業、商業、交通、財政、貨幣・金融、植民・移民、社会労働、都市、法制、政治・外交・軍事、満鉄。会社会計・検査法〔各項目はさらに数字の細区分あり〕
 - ○収録対象誌は、【19】"雑誌重要記事索引"を参照のこと。
- 【19】雑誌重要記事索引「満鉄資料彙報」(月刊)1巻(昭11)— 南満州鉄道株 式会社調査部資料課
 - ○前記「満鉄調査月報」に16巻4号まで掲載の「索引」を継承する。邦・欧文 併記。
 - ○分類項目:経済一般、企業、農業、林業、畜産業、水産業、鉱業、工業、 商業、交通、金融、財政、政治、法律、植民・人口・食糧、社会・労働、 地理、歴史、文化、自然科学、総記、満鉄〔各項目は数字と収録対象誌名 (昭和16年分、但欧・中国文誌を除く)〕
- 【20】満州及支那公報類索引「満鉄調査月報」8巻6号(昭3)— 満鉄経済調査 会
 - ○当初「雑誌図書重要記事索引」【18】の最後尾に「政府公報其他」として掲げていたものを独立させた。なお昭和4年に光緒33年(1907) 民国7年(1918) にわたる期間をcumulateした「中華民国政府公報主要記事索引目録・」が満鉄調査課より刊行された。
 - ○分類項目:国体、国会、法例・公文程式・公報・職員録、管制、官規、地 方制度、内務、外交、財政、軍事、法務、教育、産業、交通、雑件、官吏 任免
- 【21】満鉄調査課備付資料索引目録 1-4輯 大連 南満州鉄道株式会社庶務部 調査課 昭和3-9 4冊
 - ○主に満蒙、支那、シベリアを対象区域とする。

- 【22】北満関係雑誌記事索引 第1号 () 一 南満州鉄道株式会社哈爾濱 図書館
 - ○当館所蔵の邦文雑誌のうち、北満および附録として極東露領関係の文献を 収録。
 - ○分類項目:総記、歴史科学、社会科学、自然科学、工業、産業
 - 【23】満州関係資料集成 満州事情案内所 1939 40+778p
 - ○1927年に刊行された「満州事情案内所資料集成」の改訂・増補版。1938年 までに所蔵された図書、報告書、雑誌等をもとに作成
 - ○分類項目:地理・歴史、法制、政治、交通・通信・土木、経済、産業、土地・人口・開拓民、統計、文化・教育・宗教、医事・衛生・理学、社会・ 労働

朝鮮

- 【24】鮮満関係重要雑誌記事目録「文献報国」1巻1号(昭10)— 朝鮮総督府図書館
 - ○題目の五十音順配列。日本語文献が主
 - ○収録対象誌名 [昭和18年分]
- 【25】朝鮮関係雑誌重要記事調査「朝鮮総督府調査月報」 朝鮮総督府
- 【26】朝鮮関係図書論文目録「京城帝国大学法学会論集」(年刊) 京城帝国大学法学会経済研究室
 - ○邦文文献のみ
- ○分類項目:書目解題、朝鮮事情一般、産業一般、農業、牧畜・養禽、林業、 蚕虫業、水産業・塩業、鉱工業、交通・通信、産業貿易・金融、社会問題・ 社会事業、農村問題、移植民・人種・人口問題、財政、教育・文学、宗教、 政治・行政、司法、歴史・伝記、風俗・習慣、衛生、雑

東南アジア

- 【27】邦文雑誌重要記事索引 南方之部 昭和10年1月~昭和17年1月 東亜研究 所資料課 昭和17年 216p(謄写刷)
- ○地域:東亜、南洋一般、仏領印度支那、泰国、英領マレイ、英領ボルネオ、 ビルマ、印度、フィリピン、蘭領東印度・ポルトガル領チモール、濠州、 ニュージーランド、仏領ニューカレドニア
- ○分類項目:政治・外交、法制、民族、移民・人口、経済一般、産業、農業、 林・畜・水産・蚕系、鉱業、工業、商業、財政、金融・為替・貨幣・物価、

企業・経営・会計、交通・運輸・通信、社会・労働、文化、宗教・哲学・ 教育、歴史、地理、自然科学、統計

- 【28】南方文献目録 日本拓殖協会 昭和17 238p
 - ○当会所蔵の昭和17年以前の10年間分の雑誌論文を収める。また併載の図書 は昭和17年4月までに受入れられたものを対象としている。
 - ○分類項目:目録・年鑑・人名録、一般事情・旅行記、地理、歴史、民族、文化・教育・宗教、政治・外交・法規・軍事、社会・労働・衛生、拓殖、日本との関係事情、産業・経済、農業・林業・水産業其の他、鉱業、工業、金融・投資、外国貿易・国内商業、対日貿易、交通・通信 [地域区分あり]
- 【29】新刊雑誌南方関係記事索引「南方資料館報」(月報)1号(昭18·1)— 南方資料館(台北市)
 - ○雑誌記事の他、毎号図書目録、主題書誌、文献解題を掲載
- ○分類項目:地域区分のほかに、地誌・伝記、自然・科学、民族・宗教・政治・教育、経済・植民、華僑、産業・貿易、衛生・文化、芸術
- 【30】比律賓関係雑誌記事「比律賓情報」(月刊) 比律賓協会

其の他

- 【31】論文要目「回教圏」(月報)1巻1号(昭13・7) 回教圏研究所
 - ○回教圏に関する邦文雑誌所蔵の論文を収録。
 - ○分類項目:社会経済、政治、文化、民族、紀行、地理、資料 [地域分類略]
- 2-2 政治・行政
- 【32】時事文献「同盟時事月報」 同盟通信社
 - ○分類項目:世界一般、欧米一般、欧州大戦、欧州諸国、米州一般、北米、 中南米、中西亜、東亜一般、大東亜戦争、満蒙・支那、南方政治、外交、 財政・経済、軍事、文化社会、地理歴史、学芸
- 【33】最近の資料・雑誌・図書目録「地政」(隔月刊) 満州国国務院地政総局 ○地政以外の文献も収める。
- 【34】都市問題関係新文献「都市問題」(月刊)1巻1号(大14) 東京市政調 査会
 - ○分類項目:都市一般、警防災害、国土計画、都市計画、運輸・交通、動力・燃料、水利・土木・建築・上水・下水・厚生・衛生、教育文化、社会問題、

社会事業・住宅問題、農業問題、配給問題、物価・金融問題、経済地理、 財政・行政・政治・法律、歴史・地誌・伝記・其ノ他

- ○累積版あり【35】をみよ。
- 【35】邦文雑誌記事索引 東京市政調査会 昭和2 327p
 - ○大正14~昭和2年の都市問題関係の記事を収める。
- 2-3 法律
- * [5]、[6] もみよ。
- 【36】法律経済論題輯覧[正]、続、増補版 巌松堂書店編輯部編 福岡伯監修 三書樓[正] 篇:明治41、続篇:明治43・11・1、増補版:明治43・11・15 3 冊
 - ○詳しくは宮地(1)をみよ
- 【37】最近著書論文「法学新報」19巻2号(明42・2)-39巻1号(昭4・1) 中央大学法学会
 - ○19巻2号~38巻4号はほぼ毎号にわたって"前月中の新聞により公表せられたる政治法律経済に関する論説の重もなるもの"として10タイトル前後の記事を掲げ、掲載をやめる直前の38巻7~9、11号(昭3・7~9、11月号)、39巻1号(昭4・1)では"最近著書論文総覧"となった。
- 【38】雑誌論文一覧「法学協会雑誌」34巻3号(大5)-41巻9号(大12)
- 【39】法律論題「法律評論」(月刊)13巻9号(大13)— 法律評論社 〇分類項目:民法、商法、刑法、法制史、諸法、雑、持論
- 【40】法律論題「判例研究」1巻1号(大13)-5巻3号(昭3)
- 【41】法律雑誌一覧「法律学研究」26巻10号(昭4)
- 【42】文献篇「法律年鑑」昭和10年版─ 末広厳太郎編
 - ○対象誌等については、【43】参照のこと。
 - ○分類項目:法律学一般、憲法、裁判書構成法、国家総動員法、一般、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、型時訴訟法、産業法、無体財産権法、社会・労働法、国際法、法制史、外国法、大東亜地域の法制、政治・政治学、全書及叢書、雑

- 【43】文献月報「法律時報」1巻1号(昭4·12) 末広厳太郎編 日本評論 社
 - ○凡例によれば"我国近刊の法律及び社会・経済に関する著書・報告書・雑誌其の他の刊行物中法律関係のものを主とし"とある。
 - ○分類項目:法律学一般、国法学(憲法、行政法)、刑法・刑事政策、社会法規・社会問題、私法(民・商法)、訴訟関係法、法制史、国際法、外交問題、政治・政治学、雑、社会財政経済
- 【44】海法論文一覧「海法会誌」(年刊)第1号(大5) 松波仁一郎編
- 【45】刑事関係文献「刑政」(季刊) 刑務協会
 - ○分類項目:法律一般、刑法・刑事訴訟法、行政・司法保護、其他
- 【46】法律文献「司法協会雑誌」9巻1号(昭5)-
- 【47】司法保護事業関係文献「司法保護事業年鑑」 司法保護研究所
 - ○分類項目:司法保護事業一般、少年保護、思想犯保護、釈放者及猶予者保 護
- 2-4 経済
 - * [5] [6] [36] もみよ。
- 【48】勧業諸報標目(不定期) 石川県勧業博物館

第一冊 明治初年-同23年、160タイトル、約11,000件 東京 有隣堂発売明治24 4 42 p

第二冊 明治24年以降、26タイトル、約1,540件 石川県内務部第二課 明治 26 76 p

第三冊 明治27年まで? 16タイトル、約1930件 石川県内務部第五課 明 治28 72 p

- *詳細な検討は稲村徹元
- 【49】最近の経済学界「国民経済雑誌」(月刊)6巻2号(明42) 神戸商業 大学
 - ○6巻2号(明42)-7巻6号(明42):「新刊雑誌要目」10-20種類の邦文誌の 記事を掲げる
 - 8巻1号 (明43) -71巻6号 (昭16・12): 「最近の経済学界」邦文図書も併載
 - ○大正5年より昭和5年分を累積したものが【5】である。
 - ○収録対象誌名【昭和 年分】

- 【50】近着欧文雑誌重要記事「経済資料」(月刊)1巻1号(大4)-17巻3号(昭6) 南満州鉄道株式会社 東亜経済調査局
 - ○掲載号 1巻1号(大4・3) -9巻8号(大12・8)、10巻8号(大13・8) -12 巻8号(大15・8)、12巻10号(大15・10) -15巻6号(昭4・6)、16巻4号(昭5・4) -17巻3号(昭6・3)
 - ○別記【51】「新刊邦文雑誌重要記事」と併載。なお15巻5・6号までは論題名は邦訳、誌名は原タイトルの片仮名書き、執筆者名は略されている。
- 【51】新刊邦文雑誌重要記事「経済資料」(月刊)3巻5号(大6)-16巻4号(昭5) 南満州鉄道株式会社 東亜経済調査局
 - ○掲載号 3巻5号(大6)-9巻8号(大12)、10巻1-3号、15巻5・6号、16巻4・5-17巻2号
 - ○分類項目:経済事情及政策、農林畜産及水産業(付食糧問題)、鉱業、工業、 商業、交通、財政、貨幣及信用、人種並人口及移殖民、労働及社会問題、 政治、雑【以上の主題に地位記号(略)が組合わされる】

【52】内外新聞重要記事分類索引

- 1・「山口商学雑誌」第1号(昭2)-5号(昭4): 外国新聞重要記事分類索引 【欧文】
 - ・「東亜経済研究」11巻3号(昭2・7)-13巻2号(昭4・4):内外新聞重要 記事分類索引【日本・支那】(1)~(8)
 - 2「調査時報」1巻1号(昭和4・7)-6巻5号(昭9・12)【以後「山口商学雑誌」に合併】: 内外新聞重要記事分類索引(1)~(28)
 - 3「山口商学雑誌」6巻1号(昭10・4)-15巻1・2号(昭19・6): 内外新聞重要記事分類索引(29)~(77)
 - 4「東亜経済研究」28巻2号(昭19・10)-28巻3号(昭20・3): 内外新聞重要 記事分類索引 (78) ~ (79)
 - 5「東亜経済研究」29巻1・2号(昭20・6):新聞重要記事分類索引-東亜新聞 之部、日本新聞之部(80)
 - ○「東亜経済研究」23巻1号から28巻3号には、東亜新聞重要記事索引、を掲 げる。
 - ○分類項目:経済理論、経済政策、一般政治経済、財政、貨幣・金融、物価・ 消費経済、企業経営、工業、鉱業、交通、保険、倉庫、人口・移殖民・民 族問題、社会問題・労働問題、法律、政治・外交、軍港、教育・文化、雑
- 【53】近着外国経済雑誌論題「経済論叢」29巻1号(昭4·7)-54巻3号(昭17·3)

京都帝国大学経済学会

- ○47巻1号より'外国雑誌論題'となる。
- 【54】文献月報「経済学雑誌」(月報) 大阪商科大学経済研究所
 - 1 経済時報 2巻1号(昭5)-8巻2号(昭12): "内国雑誌重要記事索引、資料一覧"、"外国雑誌重要記事索引、新着図書"
 - 2「経済学雑誌」1巻1号 (昭12・4) -10巻2号 (昭17・2): "内外文献月報"
 - 3「経済学雑誌」10巻3号(昭17・3)- (昭19)"文献月報"
 - ○【59】"社会経済文献年報"は上記"内外文献月報"を累積したもの。
 - ○分類項目:総記、書目・辞典、経済・社会理論・学説史、経済史、経済政策、原始政策、商工業、経営、貨幣・金融、財政、交通、倉庫、保険、国際経済・人口・移殖民政策、経済地理、社会問題、都市問題・地方行政、経済法、統計・年鑑、書評
 - ○詳しくは宮地(2)を参照。
- 【55】外国雑誌論題「商学」第2号(昭5・2)-14号(昭和9・6) 横浜口頭商業学校商学会
 - ○重要論文・記事を論題別に分類・収録
 - ○分類項目:経済理論、経済史、経済政策、経済事情、財政、貿易、金融及物価、交通、保険、経営及会計、産業、労働及社会政策、法律政治、雑
- 【56】最近経済文献「三田学会雑誌」26巻1号(昭7・1)-28巻11号(昭9・11) 慶応義塾大学経済学部
 - ○欧・邦文の図書、雑誌論文を併載。
 - ○分類項目:理論経済学・経済学史、社会経済史、経済政策、金融、世界経済、財政学、経営経済学、会計学、社会学、社会問題、社会政策、統計・ 年鑑
- 【57】経済学文献解題「高岡高等商業学校研究論集」(季刊)6巻1号(昭8・7)-9巻1・2号(昭11・6)

高岡高等商業学校研究会

- ○6巻1号に昭和7年度、以下7巻1号(昭和8年度)、8巻1号(昭和9年度)、9巻1・2号(昭和10年度)と続いた。他の主題についても解題あり、【69】を参照せよ。
- 【57'】経済学文献大観 財政編、貨幣金融編 上·下、商工編上 大阪商科大学経済研究所 大阪 昭和9-14 4冊
 - ○収録文献には大正8~昭和11年までに刊行の図書、論文、調査のものを含む

- 【58】日本経済資料索引(月刊)-財政・経済・産業・社会・統計- 1巻1号(昭 11・3)-1巻6号(昭和11・9) 波多野賢一編 日本索引学会刊 厳松堂書店発売
 - ○120~170種前後の経済関係雑誌を対象。但し号によっては、対象雑誌の未収録がかなりある。配列は件名の五十音順。
- 【59】社会経済文献 昭和12-同13年版 大阪商科大学経済研究会
- ○同学経済研究所刊「経済学雑誌」に掲載の'内外文献月報'【54】の1ヶ年分をまとめたもの。昭和14年版は現大阪市経済研究所にホチキスで綴じられたものだけが所蔵されており、おそらく市販されたことはなかったものと思われる。

亜細亜・東南亜細亜

- 【60】南方関係、雑誌論題「内外経済概観」(月報) 第130号(昭17·2) 野村合名会社調査部
 - ○分類項目:政治・軍事、外交法律、経済、民族社会、科学文化、地域区分 (南方一般、仏印、タイ、フィリピン、南印、マレーシア、インド、オース トラリア及ニュージーランド)、其他
- 【61】雑誌新聞経済記事索引「奉天省経済季報」1巻1号(康徳8年6月[1941]) 奉天商工会資料室
 - ○「索引」は3巻2号以下の掲載をやめる。邦文のみ。
 - ○分類項目:経済一般、交通運輸、金融・財政・保険、商業一般、工業一般、 中小商工問題、貿易関税、農・鉱・畜産業、法律・政治・外交、社会・労働・移民・人口、商工機関、支那経済資料、配給統制物価、其他

経営学・会計学

- 【62】経営学文献「経営と経済」1巻1号(昭6・1)- 京都経営学会
- 【63】商学文献解題「高岡高等商業学校研究論集」(季刊) 5巻3号(昭8・4) -7巻3号(昭10・3) 高岡高等商業学校研究会
 - ○5巻3号の昭和7年度についての「文献解題」以後、6巻3号、7巻3号と、それ ぞれ前年度の文献について解題をおおkなう。7巻3号の昭和9年度以後は、 会計学、経営学、交通などに分割しておこなわれるようになった。これら についてはそれぞれのところを参照。
- 【64】最近会計文献「会計」(月刊) 31巻1号(昭7・7) 日本会計学会

- ○邦・欧文併記
- ○分類項目:会計学一般、減価償却、評価、予算、経営・会計・原価計算、 貸借対照表、損益計算書、簿記及帳簿組織、銀行会計、工業会計、信託会 計、監査、計理士、会計法規、税務、雑。
- 【65】会計学文献解題「高岡高等商業学校 研究論集」(季刊) 9巻1・2号(昭和11・6)-16巻3号(昭18・12) 高岡高等商業学校研究会
 - ○9巻1・2号以降、10巻2号、14巻2号、15巻3号、16巻3号に前年度の関係文献 を掲げる。主要文献(図書・論文)については数行の解題を付す。
 - ○分類項目:簿記、会計学、統制的会計、原価計算、監査論、時局問題

経済史

- 【66】最近の経済史学界「経済史研究」(月報) 第26号(昭6・12) 日本 経済史研究所
 - ○邦文之部、欧文之部からなる。1年の累積版は【67】を参照のこと。
 - ○分類項目: 史学理論、史料・辞典、通載、人口・聚落、移殖民、原始産業、土地制度、工業、貿易、企業組織・組合制度、交通・金融、財政、社会組織、社会問題、天災及至救済制度、経済思想、社会思想、出に、政治・対外関係法制、歴史一般、其他
- 【67】経済史年鑑(経済史研究特別号) 日本経済史研究所
 - ○【66】の各巻最終号が1年の累積版となる。分類、収録対象誌は【66】を参 照。
- 【68】社会経済史学文献目録「社会経済史学」2巻4号(昭7・7)-8巻1号(昭13・4)
 - ○第6巻までは欧文文献も対象とした。図書・雑誌論文を併載。図書について は簡単な解題を付す。
 - ○分類項目:経済史・社会史、法制史、政治・外交史、思想史 [社会・経済・政治]、一般史学及参考諸科学
- 【69】経済史関係文献解題「高岡高等商業学校研究論集」(季刊)7巻1号(昭9・7)-16巻3号(昭18・12) 高岡高等商業学校研究会
 - ○7巻1号以後、7巻3号、9巻1・2号、10巻1号、11巻1号、12巻1号、13巻1号、14巻2号、15巻3号、16巻3号に、それぞれ前年における経済史関係の主要図書・論文について解題を付す。また文献解題の後に各年度の研究動向について概観が述べられている。

○分類項目:経済史一般、日本経済史(朝鮮を除く)[文献・資料・総説等、原始産業及農村関係、工業関係、商業関係]、東洋経済史(日本を除く)[鮮満経済史、支那経済史、印度其他経済史]、西洋経済史[総説、古代経済史、中世経済史、近世経済史]、概観

人口・植民

- 【70】邦文人口問題関係文献「人口問題研究」(月刊)1巻1号(昭15·4)— 厚生省人口問題研究所
 - "外国雑誌人口問題文献"を併載。
 - ○文類項目:人口理論・人口問題、人種・民族関係、産業・職業労働関係、 食糧・生活関係、国土計画関係、社会衛生関係、移植民関係、資源関係、 統計関係、雑
- 【71】拓殖関係文献目録「拓殖論叢」(月報)3巻1号(昭16)-4巻4号(昭18・7) 日本拓殖協会
 - ○邦文の部、欧文の部からなる。図書、雑誌記事を併載
 - ○分類項目:植民政策、政治法律、経済、移植民・開拓、人口、民族、社会、 衛生、教育、文化、動植物、各国事情、拓殖史[巻号により変更あり]

生命保険

- 【72】主要新聞雑誌生命保険関係題目「生命保険会社協会会報」(季刊) 24巻3 号(昭10・9) 生命保険会社協会
 - ○保険専門誌意外の所蔵雑誌に掲載された生命保険関係の文献を掲げる。
- 2-5 社会・社会問題

社会学

- 【73】社会学文献解題「高岡高等商業学校研究論集」6巻1号(昭和8・7)-9巻1・ 2号(昭11・6) 高岡高等商業学校研究会
 - 〇昭和7年度(6巻1号)、同8年度(6巻3号)、同9年度(8巻1号)、同10年度(9巻1・2号)に掲載。社会学の他に、商学、経済史、経済学などの解題がある。

社会問題・労働問題

【74】研究抄録「労働科学」(月刊)1巻1号(大13・6)- 日本労働科学研究 所

- ○農業労働"社会政策"等の社会科学の範囲の文献も収録
- ○誌名変更

「労働科学研究」: 1巻1号-16巻11号(大13・6-昭14・12)

「産業医学」: 17巻1号-17巻9号(昭15・1-昭15・9)

「労働科学」: 17巻10号 (昭15・10) -

- 【75】経済、社会政策、労働衛生、社会衛生に関する諸論文「労働科学年鑑(労 働科学研究所報告)」大正14年版 -
 - ○元「日本社会衛生年鑑」、昭和16年版より現書名となる。昭和17年版によれば「年鑑」の全6章のうち、文献目録が、第3章:経済及社会政策に関する諸文献、第4章:労働衛生に関する諸文献、第5章:社会衛生に関する諸文献、以上3章である。
- 【76】産業労働関係論述一覧、産業労働関係新刊書籍「世界の労働」3巻2号(大 15) -
- 【77】参考文献「保険調査彙報」(月刊) 保険院總務局企画課
 - ○社会保険、生命保険に関する文献(和、欧)の図書・雑誌をかかげるが、 掲載件数は少ない。
- 【78】社会問題関係図書並に論文目録「日本労働年鑑」大正9年-昭和8年 大原 社会問題研究所
 - ○創刊(大9)当初は図書目録のみ。 昭和8年以後の刊行物は「月刊大原社会問題研究所雑誌」(創刊昭9・7)に 掲げられることになった。
 - ○分類項目:労働問題一般、労働組合及労働争議、無産政党、農村問題、社会 会法政及国際労働会議、婦人問題及少年労働、社会事業、雑
- 【79】社会事業参考資料「日本社会事業年鑑」大正11年版-同15年版 大原社会 問題研究所
 - "著書"、"雑誌"、"官公庁其の他の調査資料"の3部からなる。なお、昭和 2年以降は"労働年鑑""雑誌掲載社会問題関係記事索引"に併合
 - ○分類項目:一般社会事業、貧困問題、セッツルメント、方面委員、児童保護、社会教育、住宅問題、職業紹介、地方改善、社会衛生及救療事業、矯風事業、犯罪、社会保険、其他
- 【80】社会問題文献抄録「労働年鑑」昭和13年版-同15年版 協調会
 - ○巻末に附録として掲載。ただし昭和16年版(昭和15・1~12)は"労働年鑑"が附録を廃したため、別に小冊子(63p)を付す。

- 【81】社会事業関係文献「日本社会事業年鑑」昭和9年版- 中央社会事業協会 社会事業研究所
 - ○社会事業一般、生活保護事業、軍人援護事業、保険医療保護事業、母性、 児童保護事業、労働保護事業、社会教化事業、司法保護事業、その他
- 【82】同和問題文献「同和事業年鑑」 同和奉公会
- 【83】社会問題関係主要雑誌記事目録「月刊 大原社会問題研究所雑誌」1巻1号(昭9・7)-3巻8号(昭11・8) 大原社会問題研究所図書室
 - ○昭和7年分まで「日本労働年鑑」に掲げていたもの
 - ○分類項目:米穀問題、賠償問題、貿易、ブロック経済、中小商工業者問題、ファッシズム、婦人問題及婦人運動、軍縮門寿亜、インフレーション、貨幣、関税、経済会議、国際労働問題、国際共産党運動、国際赤色労働組合運動、恐慌、レーニン及レーニン主義、マルクス、エンゲルス、労働立法、戦争、社会事業、社会運動、支那、ソヴェート、消費組合運動、ソヴェート同盟、帝国主義及反帝闘争
- 【84】社会事業研究所図書月報「厚生問題」(月刊) 中央社会事業協会社会事業研究所
 - ○分類項目:社会事業一般、社会事業理論・一般社会病理学、社会事業史伝及史資料、救護事業付罹災救助、軍事援護事業、児童保護付児童学、医療保護、経済保護、職業保護、社会教化事業付国民精神総動員、司法保護、農村社会事業、社会調査、生活問題貧困問題、犯罪問題付反在学、農山漁村問題、都市問題、人口及人種問題、労働及社会法規、社会保険、労働者及職業教育

教育

- 【85】教育科学的研究資料文献索引「教育」(月刊) 岩波書店
- 【86】郷土教育関係論文目録「郷土教育」(月刊) 郷土教育聯盟

軍事

- 【87】資料年報 [昭和16] 陸軍省主計課別班
 - ○前年までに収集された図書、雑誌、資料を収める。
 - ○分類項目:国防・軍事、経済戦略、国際経済・戦時経済、経済一般、資源・動力、食糧、人口・植民、国富・国民所得、工業・鉱業、農林業、商業・

配給、物価、金融、財政・国際賃借、貿易、交通、企業・経営・会計、社会労働、政治・外交、法制、自然科学・技術、思想文化、重要経済統計目録

3 工業

- 【88】全日本主要工学工業文献一覧「工学と工業」(月報) 日本工学会 〇分類項目:工学強業一般及資源、物理学、応用力学等々
- 【89】雑誌新聞重要記事索引「満業資料彙報」(月報) 康徳6年(1939)8月-満州重工業開発株式会社
 - ○雑誌之部(欧文記事も併載)、新聞之部からなる。
 - ○分類項目:総記、経済一般、企業、経営・会計、農業・林業・水産業・鉱業、工業、貿易、交通、金融・通貨・保健、財政、政治・外交、法政、人口・食糧・移植民、社会労働、地理・歴史、満業並関係会社、自然科学・理化学
- 【90】文献紹介「満州電業株式会社調査資料」(不定期)1巻2号(康徳6年[1939] 6月)-
 - ○調査課刊行の「実務資料月報」を継承する。
 - ○電気を主に政治、経済、農業関係も含む。
 - ○分類項目:電気一般、電力行政、電気供給事、満蒙外交、国際・移植民、 満蒙経済一般、満蒙金融・交換、満蒙社会一般、満蒙産業一般、満蒙農業、 満蒙工業、満蒙鉱業、満蒙貿易・税関、支那一般、支那外交・国際・植民、 支那経済一般、支那金融・交換、支那工業一般、支那商業、ソ連関係、経 済一般、経済政策、交換・金融、財政彙版、産業一般、工業一般、化学工 業、燃料工業、鉱業、商業
- 【91】鉄道関係雑誌記事目録 昭和10~12年 鉄道図書館 昭和13 212p
- 【92】電気関係文献索引「大日本電気会誌」(月報) 大日本電気会
 - ○邦・欧文併載
 - ○分類項目:電気事業一般、法令、生産、経理、労働、大東亜共栄圏各国、 鉄鋼、軽金属[後略]
- 【93】新着資料重要記事索引「昭和製鋼所調查月報」1巻1号(康徳6年 [1939] 11月)-3巻9号(康徳8年9月) 同總務部企画課

- ○1巻1号より2巻3号までは和文のみ、2巻4号より同8号(1940)までは、和、 欧文併載、以後、邦文文献については「社報」(週刊)にも掲載している理 由で、欧文文献のみとなった。
- 【94】文献抄録「燃料協会誌」 燃料協会
- 【95】紡聯図書月報(繊維産業文献)「大日本紡績聯合会月報」 大日本紡績連合会
 - "図書月報"となっているが、内容は"雑誌記事索引"。
- 【96】文献要覧「繊維工業会誌」(月報) 繊維工業学会
 - ○分類項目:原料、紡績、製糸、製繊、[略]

4 産業

農業・園芸

- 【97】農業関係文献「農業」(月報) No. 704 (昭14・7) 大日本農会
 - ○分類項目:土壤、肥料、病虫害及薬剤、食用作物、特用作物、果樹、蔬菜、 畜産
- 【98】農政資料「帝国農会報」(月報)16巻15号(大15·2) 帝国農会調査部
 - ○分類項目:農業政策、農業経済、農業経営、農業技術、主要食糧、其他農産物、農業人口、農業労働土地生産手段、農業団体、外地円域、農業事情、諸外国農業事情、調査統計年表、雑
- 【99】最近の洋雑誌論文抄録「農業経済研究」5巻1号(昭4・4) 農業経済 学会
 - ○5巻1号~15巻までは"最近の論文及著書"と題し、邦・欧の著書・論文記事を併載していたが、16巻1号(昭15・3)より名称を現名称に変更するとともに、数篇の欧文論文の抄録のみを掲げることとなった。
- 【100】農業研究「農業研究」(月報) 農業図書刊行会
 - ○ほぼ全篇が抄録(500字前後)からなる
 - ○分類項目:作物、園芸、土壌肥料、生物化学、病理、昆虫、畜産獣医、蚕業、林業、農業工学、農産製造、農政経済、農業教育、時報、彙報
- 【101】満州農業文献目録「満州農学会誌」(不定期) 満州農学会

- ○邦・欧文、図書、雑誌論文を併載。800字前後の抄録を付す
- ○分類項目:農業史、農業事情、農畜産経済、開拓、土壌・肥料、農産化学、 農業気象、作物、病虫害、畜産、飼料、牧野、獣疫、蚕業、林業
- 【102】最近の文献「農業と経済」(月刊)1巻1号(昭9・4) 農業と経済社 ○分類項目:農業経済、農業政策、農業経営、農業生産、農業団体、蚕糸経 済、林業経済、農史、東亜問題、雑
- 【103】食糧経済文献目録「食糧経済」(月報) 日本米国協会
 - ○雑誌記事および図書を併載
 - ○分類項目:生産、管理、配給、利用、厚生
- 【104】雑誌主要記事索引「朝鮮金融組合聯合会調査彙報」第1号(昭14・1)-58号(昭和19・11) 同会
 - ○1~6号(昭14)は「一般経済関係」、「協同組合関係」に区分、7号(昭15・1)~20号(昭16・9)は「一般経済関係」、「農業及農村経済関係」、「協同組合関係」の3本立てとなった。しかし21号(昭16・10)からは「協同組合関係雑誌記事索引」1本となり58号まで継続。
 - ○分類項目:

「一般経済関係」経済一般、在世、金融、貿易、水産業、工業、鉱業、商業、交通運輸、その他

「農業及農村経済関係」米穀及食糧、土地及農業、林業、農村振興、小作慣行、移植民、その他

「協同組合関係」概論、信用組合(金融合作社、金融会)、購買組合(消費組合)、販売組合、利用組合(医療組合)、農事実行組合(殖産契)、組合史、法規、経営・実務、農業倉庫、漁業組合、商業組合、工業組合

【105】"最近の文献"、"資料及抄録" 「教育農芸」(月刊) 教育農芸聯盟 ○分類項目:作物・園芸、畜産、養蚕、土壌及肥料、農業経済

蚕糸

【106】日本蚕糸總覧 1巻1号(昭5)- 上田蚕糸専門学校同窓会内蚕糸科学研究会

林業

【107】新刊雑誌重要記事「大日本山林会」第326?-487号(明治43-大正12)

株式取引所

- 【108】取引所関係記事目録「名古屋株式取引所調査時報」 同取引所調査課
 - ○「新聞之部」、「雑誌之部」よりなる。【109】より掲載対象誌は、はるかに すくない。
- 【109】取引所関係記事目録「東京株式取引所調査彙報」 同取引所調査課
 - ○「新聞之部」、「雑誌之部」からなる。

貿易

- 【110】雑誌記事索引 第1号(昭17) 日本貿易振興協会日本貿易研究所資料課
 - ○主題別の分類により区分した第1部と、地域別に分類区分した第2部からなる。謄写刷。
 - ○分類項目:貿易一般、貿易事情・貿易統計、産業・資源一般・技術、産業・資源事情、農・林・畜・水産業、食糧問題、工業一般、工業事情、工業史、重工業及商品、化学工業及商品、繊維工業及商品、食料品工業及商品、雑品工業及商品、鉱業一般、商業・配給・商品一般、企業・営団・経営、貨幣・銀行・金融・為替、市場・取引所、保険・倉庫・計理、交通、経済一般・経済史、統計学・経済統計、経済政策・経済統制・国土計画、東亜経済・広域経済・世界経済、経済事情・経済地理、財政・物価・景気、人口・民族・移植民、社会・労働・厚生、法律、政治・国防・外交、地理・各国地誌及紀行、歴史・人名録・伝記、其他自然科学・精神科学
- 【111】支那貿易調査資料索引「支那貿易通報」第4~39号(大11-14)? 大 阪誌訳書産業部調査課
- 【112】東洋貿易研究資料月報「東洋貿易研究」(半月刊) 大阪市経済局東亜 課
 - ○毎月最終号に掲載、当初の題名は「重要記事索引」
 - ○分類項目:一般問題、大東亜一般、日本、満州、支那、南洋一般、仏領印度支那、泰、マライ、ビルマ、比律賓、東印度、ニューギニア、濠州、ニュージーランド、クリスマス島、ビスマルク群島、其他諸国

交通

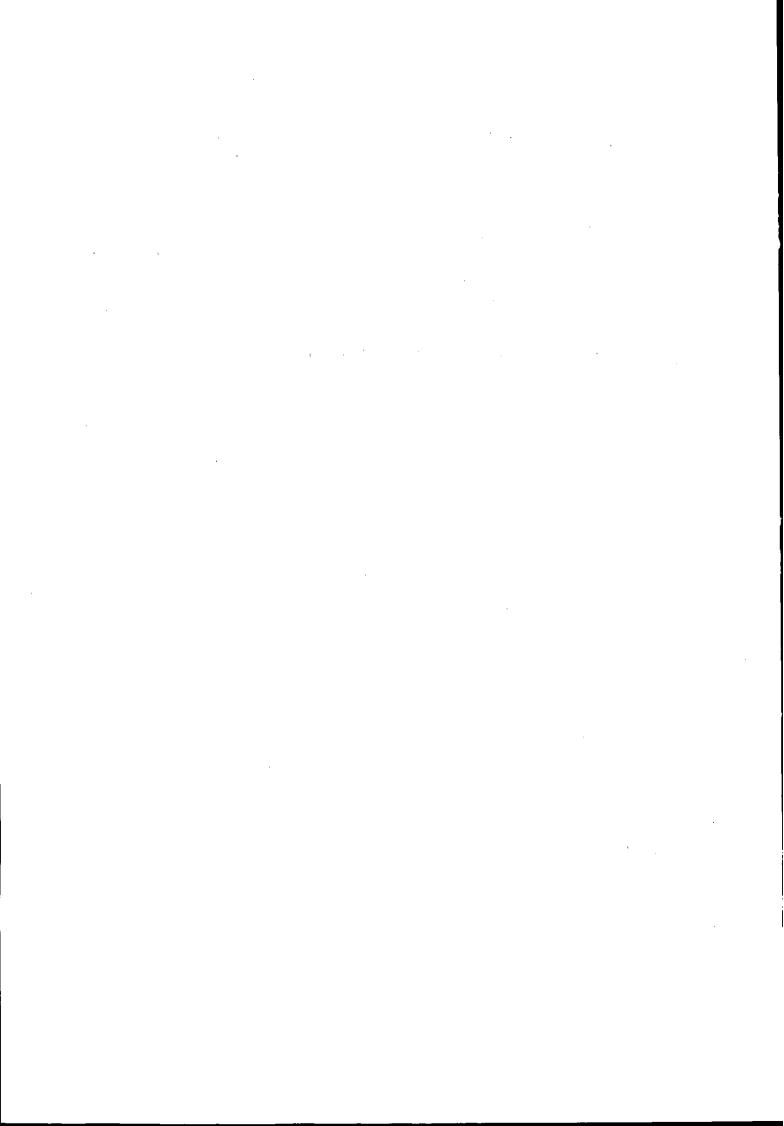
【113】交通文献解題「高岡高等商業学校研究論集」9巻1・2号(昭11・6)-14 巻3号(昭16・11) 高岡高等商業学校研究会

- ○9巻1・2号(昭和10年度)、10巻2号(同11年度)、11巻1号(同12年度)、12巻2号(同13年度)、13巻1号(同14年度)、14巻3号(同15年度)にわたって掲載
- 5 歴史・地理
- 【114】文科諸雑誌索引-歴史及歴史地理之部- 1-7「国学院雑誌」16巻3号(明43・3)-16巻9号(明43・9) 大川茂雄、竹村五百枝編
 - ○明治38年までに刊行された歴史、地理、文学、美術、風俗、道徳、宗教、 考古学などの雑誌を対象として収集したもののうち、歴史、歴史地理の部 をまとめたもの。
- 【115】歷史関係論文要目「歷史公論」昭和7年-

[116]

- 【117】新着雑誌論文要目「史学雑誌」(月報)第7編4号(明29) 歴史学研究会
 - ○雑誌別に列挙。当初は"西洋新刊雑誌要目"とあり、掲載は不定期。
- 【118】雑誌論文要目「歴史」(月報)昭和12・5月号-同12・10月5号 歴史文化 研究会
- 【119】論文一覧「歴史地理」(月報)1巻2号(明 3・11) 日本歴史地理学会
 - ○雑誌別に列挙。当初は"歴史地理界の昨今"と称し、不定期に掲載。
- 【120】文献要目「歴史学研究」(月報)1巻1号(昭8・11)-120号(昭9・4)
- 【121】東洋史研究文献類目(年刊)昭和10年度-東方文化研究所(京都大学人文研究所)
 - ○日本支那之部、欧米之部からなる。
 - ○分類項目:一般史、歴史地理、社会史、経済史、政治史、法政史、宗教史、 学術思想史付教育、科学史、文学史付音楽、美術史、考古学、古文書学、 民族学、言語・文字学、書誌学等
- 【122】近刊叢欄「東洋史研究」1巻1号(昭10・10) 東洋史研究会 ○邦文、中国語を併載

- 【123】国史学会 昭和4年- 筑波研究部
 - ○国書・論文併記
 - ○分類項目:一般史、宮廷及神祇、政治及法制、社会及経済、思想及宗教、 学問及教育、言語及文学、芸術、歴史、地理及地方史、対外関係、伝記・ 書誌及史料、考古学・民族学
- 【124】雑誌所載参考論文一覧「明治文化」(月報) 明治文化研究会 1巻11・12号(大15) – 明治文化研究会編、日本 評論社刊
 - ○論題名、執筆者名、誌名を月別に列挙。
- 【125】抄録「地理学評論」(月報) 日本地理学会



一禁無断転載一

平成12年3月発行

発 行 財団法人データベース振興センター

東京都港区新橋2丁目13番8号

新橋東和ビル5階

TEL 0.3 - 3.5.0.8 - 2.4.3.0

委託先 株式会社皓星社

東京都杉並区阿佐ヶ谷南1丁目47番16号

TEL 0.3 - 5.3.0.6 - 2.0.8.8

印刷所 株式会社エニウェイ

東京都豊島区池袋2丁目19番3号万葉ビル

